





81-723



例言

本署於去年四月伯刺西爾國駐劄辦理公使大越成德氏ニ隨行シテ南米ニ渡航シ昨三十四  
年五月歸朝  
依り起稿シタリ  
稅關ニ雇員タリシ久保寺兵吉氏カ實地ニ踏査シタル所ト信據スヘキ材料ト



例言



南米亞然丁國々勢一班目次

一位置及經緯度	一
一人口及面積	一
一區劃	一
一地形及地勢	一
一山脈	三
一河流	三
一港灣	三
一海峽	三
一島嶼	三
一都市及海港	三
一潮流	四
一風雨ノ方向	四
一氣候	四
一物産	四
一國体	四
一宗教	五
一教育	五
一歴史ノ一斑	六
目次	



目次

一 奴隸制度 ..... 七七

一 產物

一八九五年中牛類數

牛類

馬匹數

馬匹

世界羊毛產出額

山羊及綿羊 ..... 一八九六七二年間ニ輸出セル羊毛ト仕向地

牛ノ產品

一八九〇年ヨリ全九九年ニ至ル羊毛輸出額

牛羊ノ生畜

牛羊ノ凍肉

一八九五年ヨリ全九七年ニ至ル凍肉輸出額

乾肉及鹹肉

其他ノ產品

牛屠殺數

一八九六年ヨリ一九〇〇年ニ至ル

羊皮及牛皮

一八九五年ヨリ全九九年ニ至ル羊皮輸出額

小麥 ..... 耕地積、小麥ノ相場、小麥ノ產額、

小麥粉製造所 ..... 小麥輸出額

玉蜀黍

耕地積及收穫高 ..... 輸出額 ..... 價格

大麥

輸出額

麻及亞麻種

耕地積

落花生

耕地積

砂糖

耕作及製造所 ..... 產出額

主要ナル農產物ノ耕地積及其收穫高

葡萄栽培及葡萄酒釀造

產地

麥酒火酒及其他ノ酒類

各種ノ製造所及機械場

羅紗

貨幣制度

度量衡

財政



紙幣發行高……………内外國債及州債

外國資本……………歳出入

一交通機關……………

郵便局數及取扱數……………

電信線ノ延長……………

鐵道……………

各州、各縣ニ於ケル鐵道ノ延長……………

車輛數……………運輸貨物……………鐵道收入

船舶……………

汽船會社數……………外國貿易船數表

一輸出入貿易……………

輸出入品關係國表……………

アエノス、アイレス港……………

一結論……………

### 南米亞然丁國々勢 一班

亞然丁國ハ南米第二ノ大國ニシテ現今ノ定期航海線ヲ經テ日本ヨリ渡航スルニハ第一遠隔ノ地在

位置 南亞米利加州ノ南端ニ位シ東方ハ南太西洋ニ臨ミ西方ハ一帯智利國ニ境シ南ハ火ノ國(チラ、アル、ラモゴ)ニ終リ北ハボリヴィア國ト境ヲ交ユ而東北ノ國境ハ皆河流ニヨリテ烏爾圭、伯刺、直爾、パラグエ、三國ト界ス

經緯度 南緯三十度半ヲ起リテ南ノ方南緯五十五度ニ延ビ東ハ西徑(英國グリンウイツチ天文臺ヲ零度トス)五十四度ヨリ同七十三度ニ及ブ

人口及面積 面積ハ全國總計百一十一万三千八百四十九英方里人口ハ(千八百九十五年ニ於テ)三百九十五万四千九百一十一人ニシテ内男兒二百八万八千九百十九人女兒百八十六万五千九百九十二人アリ而現今ニ至リ毎年多數ノ移民歐洲各國ヨリ進入シ人口大ニ増加セルヲ以テ實際ニ於テ約五百万ニ近キ人口ヲ有セリ

區劃 國內ヲ人口ノ多少及ヒ行政上ノ便宜ニヨリ「プロヴィンス」及ヒ「テリトリ」ニ區分シテ四ノ「プロヴィンス」ト九ノ「テリトリ」ヲ置ク而「プロヴィンス」ハ海岸部(四個ヨリ成ル)山部又ハ「アンデス」部(四個ヨリ成ル)中央部(三個ヨリ成ル)及ヒ北部(三個ノ「プロヴィンス」ヨリ成ル)ノ四大部ニ區分セラル

海岸部 (アエノス、アイレス市)

南米亞然丁國々勢 一班



南米然亞丁國々勢一斑

ブエノス、アイレス、プロヴァインス	全
サンタ、フェー	全
エントレ、リオス	全
コリエンテス	全
定的斯部 即チ山部	
リオジャ	全
カタマルカ	全
サン、ジュアン	全
メンドサ	全
中央部	
コルドヴァ	全
サン、ルイス	全
サンチアゴ、デル、エステロ	全
北部	
ツクマン	全
サルタ	全
ジュヌユイ	全
以上合計十四而九個ノ「テリトリ」ノ名ハ左ノ如シ	
ミツシヨンス	
フォルモサ	

シヤコ  
 バンパス  
 リオ、チーグロ  
 ニュークエン  
 シユブットー  
 サンタ、クルース  
 テラ、デル、フェゴ

「プロヴァインス」ニハ知事アリテ一國ノ体面ヲ形成スルモノ「テリトリ」ハ未聞ニシテ住民少ナキ地ナルヲ以テ未ダ地方政府ヲ置カズ中央政府ノ直轄ニ屬セリ

地形及ヒ地勢 地形ハ北南ニ長ク東西ニ狭シ而北方ハ廣ク南部ハ狭クシテ較々三角形ヲ爲セリ地勢ハ北方及西方ニ高ク南及東ニ低シ

山脈 山脈ハ安的斯ノ大山國ノ西部ヲ南ニ走リテ智利國ト天然ノ障壁ヲ劃シ高山峻嶺少ナカラズ

河流 河流ハ皆西及北ヨリ發シテ悉ク大西洋ニ注ク其中最大ナルモノヲラ、プラタ川トシ之レニ次グヲウルグエー川及ヒバラグエー川ビルコマヨ川ヲユラメント川(以上ノ三川ハ皆ラ、プラタ川ノ支流)コロラド川チーグロ川センゲル川等トス何レモ舟楫ノ便ニ富メリ

港灣 ラ、プラタ河口ノ灣 エル、リンコルン灣サン、マチアス灣セント、チヨイヂ灣等トス而港灣ノ最モ可ナルモノハセント、ジヨセーフ南北ノ海灣ナリト云フ

海峡 有名ナルマゼラン海峡ハ大陸トテラ、デル、フェゴトノ間ニ在リフォルクランド、サウンド海峡ハフォルクランド島ノ東西兩島間ノ水道ナリ

島嶼 テラ、デル、フェゴノ地及ヒフォルクランド島(東西ノ二島アリ)及ヒサン、チエーゴ島等ニ

南米亞然丁國々勢一斑



南米亞然丁國々勢一斑

シテ尙多數ノ小島海岸ニ散布セリ

都市及海港

首府ヲ「ブエノス、アイレス」ト云フ國內第一ノ市街ニシテ又第一ノ良港ナリ之レニ次ク「ロザリオ」及「ピラ」、プラタ港トナス共ニ新築港法ニヨリテ築造セル完全ナル港ナリ其他「コリエンテス」、ハラナ、サンタフェ、アレジャンドラ等亦見ルヘキモノアリ然レモ大西洋岸ニ在ル海港ハ貿易ノ發達極メテ幼稚ナルヲ以テ茲ニ之レヲ舉クルニ及バズ

潮流 潮流ハ「ケーブ、ホーン」潮流ノ一部東岸ニ沿フテ北流スルアリ又南太平洋潮流ノ一ナル「アラリアン」潮流ノ其東側ヲ南流スルアリ「アラリアン」島ノ北方ニ於テ衝突ス南走潮ハ熱帶ノ温流ニシテ北走潮ハ寒流ナルヲ以テ茲ニ起ル蒸氣ハ南米東岸諸國ノ氣候ニ一大關係ヲ有セリ

風雨ノ方向 地勢西北ニ高ク東南ニ低ク南太平洋其東岸ニ瀾漫セルヲ以テ國ノ北部貿易風圈内ニ在ルトコロト南部寒帯ニ近キトコロトハ自ラ其風向及ビ雨雪ノ量ヲ異ニス北部地方ハ伯刺西爾中南部ト較ヤ其氣候ヲ同フシ大氣温潤ニシテ夏期(十二月ヨリ二月ニ至ル)ハ霖雨期ニ屬シ大雨一月ヲ超エテ止マザルコトアルモ南部ハ一般ニ乾燥ニシテ降雨少ナシ風向ハ東南ノ風(夏期)ニ限リ冬期ノミハ東北ノ風ヲ多シトス但極南ノ地方ニ於テハ夏期東風及西南風ノ起ルコト屢々アリ

氣候 土地南北ニ長ク東部ハ直チニ海ニ接セルニ反シ西方ハ一帶ニ安的斯ノ高嶺ヲ以テ限ラル、ヲ以テ氣候處ニヨリ同シカラス即チ北部ハ一般ニ殆ソド夏期ノミニシテ冬期ナキトコロアルニ反シ南部ハ冬期長クシテ夏期短シ概スルニ北部及中部ノ海岸ニ近キ低地ハ景氣甚シク西方山麓ノ高地ハ寒氣強シ而海ヲ距ルコト遠ク四方ニ山岳ヲ以テ繞ラセル地方ハ寒暑ノ差殊ニ甚シトス 物産 物産ハ各種ノ家畜及其產品最モ多ク農産物之ニ次ク工商ノ業ハ未タ十分進歩セサルモ比較的發達ヲ稱スルニ足レリ而其旺盛ヲ期スルハ將來尙十數年ノ後ニ俟タザルベカラス

國体 國体ハ合衆共和政体ニシテ中央政府ハ首府及ビ九個ノ「テリトリ」ヲ直轄シ兼テ十四個ノ「プロヴィンス」ヲ總統ス中央政府ニハ共和國大統領アリ十四「プロヴィンス」ニハ知事アリ大統領ノ任期ハ六年ニシテ知事ノ任期ハ三年若クハ四年ナリ「プロヴィンス」ニヨリ不同アリ共ニ人民ノ公撰ニヨリテ上任ス

共和國々會ハ元老院及ビ衆議院ニ分レ元老議員三十名(首府及ビ其他ノ十四「プロヴィンス」ヨリ各二人ヲ撰出ス)衆議員百三十三名ニシテ人口三万三千人ニ付一人ヲ撰出スルノ制ナリ 下院議院ノ任期ハ四年ニシテ二年毎ニ半數ヲ改選シ上院議員ノ任期ハ九年ニシテ三年毎ニ總數ノ三分ノ一ヲ改選ス

宗教 國教ハ「ローマン、カトリック」教ニシテ大僧正一人權僧正五人アリ全國ノ宗教ヲ統轄ス共和國大統領及ビ副大統領ノ候補ニ立ツモノハ國教ヲ奉スル國民ニ限レルカ如キハ畢竟スルニ宗教保護ノ上ニ與ヘラレタル特例ナリ但シ一般人民ニ於テ他ノ宗教ヲ奉スルト否トハ各自ノ自由ニシテ法律上敢テ箝束セラル、コナシ

教育 新開國ニシテ冒険家及ビ移民ヨリ成レル稀少ナル國民トシテハ教育制度比較的普及セリト云フヘシ普通教育ハ自由主義ニヨリ授業料ヲ徵收セズ就學年期ハ六才以上十四才迄ニシテ毎年ノ教育費ハ約千二百九十二万七千二百「ペソ」ノ金貨ヲ支出セリ 千八百九十九年ノ調査ニ據ルニ小學校ノ數ハ四千二百九十一校ニシテ生徒ノ數ハ四十二万七千三百三十一人ナリ

中學校ノ數ハ十七個ニシテ教員四百六十五人生徒一千三百人アリ 師範學校ノ數ハ三十五校ニシテ生徒二千百人アリ 大學校ハ「ブエノス、アイレス」及「コルドバ」國立大學校ヲ、プラタ、サンタフェ、及ビハラナニ州

南米亞然丁國々勢一斑



立大學校アリ法科醫科及ヒ工科ニ分レ二千六百人ノ學生ヲ有ス礦山學校ハ百人ノ生徒ヲ有シ農業學校ハ三百餘人ノ生徒アリ其他陸軍士官學校及ヒ海軍兵學校アリ何レモ新智識ヲ以テ新學術ヲ教授シ頗ル盛大ナリ但大學校ノ程度ハ我帝國大學ニ比シ一步ヲ讓ルト云フ

歴史

亞然丁國ハ葡國ノ海將カブラールガ千五百年始メテ伯刺西爾ノ地ヲ發見セル後十五年即チ紀元千五百十五年西班牙人ジャス、ワリスニヨリテ發見セラル當時之ヲ一般ニ「テラ、ド、ラ、ブラタ」ト稱シタリ而其現今ノ國名ニ改メタルハ爾后數百年ノ事ニ屬ス  
西班牙政府ハ爾來銳意シテ其開拓ト殖民トニ從事シ軍艦ヲ派シ探險隊ヲ送り新ニ殖民地ヲ設立シテ本國ヨリ殖民ヲ移植セルノミナラス尙ホ秘露國ヨリ多數ノ移民ヲ誘入シテ斯土ノ繁榮發達ヲ企圖セリ

發見后二百九十餘年ノ間ハ各國民ノ侵入ニ加フルニ隣國ブラジルニ住居セル葡國人トノ間ニ戰爭絶ユルコナク互ニ相攻撃爭奪ヲ事トセリ故ニ當時ニ在リテハ確然タル國境ヲ劃スルコト能ハス而河東ノ地即チ現今ノ烏爾圭國ノ如キハ或ハブラシルニ屬シ或ハ亞然丁ニ合シ分合常ナラザリシガ紀元千八百十年獨立ノ氣運熱シ西班牙ノ羈絆ヲ脱シテラ、ブラタ共和國ヲ建設セル當時ニ於テハ烏爾圭モ亦ラ、ブラタ聯邦中ノ一ナリシナリ然ルニ千八百十五年ニ至リ烏爾圭ハ亞然丁聯邦ヨリ分離シテ獨立セリ

「烏爾圭ハ千七百年一度葡萄牙ノ爲メニ征服セラレタルモ七十八年ノ後葡人ヲ其疆上ヨリ驅逐セリ然レハ單獨ニ獨立スルノ力無キヲ覺リ亞然丁國ニ屬セシモ千八百十五年亞然丁聯邦ヨリ分離獨立スルヤ久シカラシテ(千八百二十一年)又伯刺西爾國ノ爲メニ征服セラレテ一時之ニ屬ス降ツテ千八百二十七年兵ヲ起シテ伯國ニ叛キ終ニ再ヒ獨立シテ新ニ烏爾圭共和國ヲ建設ス

故ニウルクエーハ建國以來今日(千九百年)ニ至ル僅カニ七十五年ニ過ギザル新國ナリトス  
千八百十五年烏爾圭國亞然丁聯邦ヲ分離セシ後ハ特筆スヘキモノナシ其後千八百六十四年バラグエートノ戰爭開始セラレ亞然丁ハ伯刺西爾及ウルクエーノ兩國ト聯合シテバラグエーヲ攻メテ之ヲ破リ終ニ地ヲ割キテ城下ノ盟ヲ爲サシメタリ次テ千八百七十九年秘露及ボリヴイアノ兩國聯合シテ智利ト戰ヲ開クヤ兩國ハ亞然丁ヲ説キテ聯合ニ入ラシメントス智利國之ヲ覺リ竊カニ亞然丁ヲ要シ兩國ヲ援クサラシム於是亞然丁ハ嚴正ニ中立ヲ守リ敢テ秘露及ボリヴイアヲ救ハザリシテ以テ戰止メテ後一兵ヲ勞セスシテ其西北ノ疆土ヲ擴張スルヲ得タルノミナラズ更ニ智利ト結ンデ南バタゴニアノ地ヲ併セ遂ニ南ノ方遠クテラ、デル、フエゴニ延フルニ至レリ

奴隸制度

奴隸制度ハ一時葡萄牙人が烏爾圭ヲ征服セシ時之ヲ烏爾圭ノ地ニノミ用ヒシモ其後千八百四十一年ニ至リ全ク之ヲ解放セリ烏爾圭ノ一時黒奴ヲ輸入セルニ反シ亞然丁國ニ於テハ全ク之ヲ用ヒタルコトナキヲ以テ亞然丁ノ人種ハ只歐洲ノ白人及ヒ土着ノ印甸人トノ雜種ニ止マリ黒人ノ血ヲ混セシモノアルヲ見ズ而土着ノ印甸人處分方法ニ關シテハ政府モ人民モ共ニ意ヲ注クトコロアリ克ク招撫開發ノ道ヲ講シ與フベキノ力ヲ盡シテ之ヲ保護誘導セリ故ニ同國ニ於ケル印甸人ハ伯國ニ於ケルガ如ク奴隸ノ苦ヲ受ケタルコトナキノミナラズ却テ其勇敢ト忍耐トノ特性ヲ發揮セシムルガ爲メニ目下之ヲ軍人及ヒ警吏ニ使用スルノ方針ヲ探レルモノ、如シ之レ西班牙ニ於ケル「シャエズ」イツ「宗派ガ土人ニ與ヘタル感化力ノ其宜シキヲ得タルニ由ル

亞然丁國ハ其開國近ク進歩新ナルヲ以テ人口稀少ニシテ一方哩中僅カニ三人半ヲ有スルニ過ギズ故ニ首府アエノス、ソイレスノ人口六十七万人此一方哩宛人口九千二百二十餘人ノ多數ナルニ



比シテラ、アル、フエゴノ如キハ總人口僅カニ四百七十七人ヲ有スルニ過ギズ故ニ之ヲニ平方哩ニ割當ツルトキハ僅カニ半人ニダモ滿タザルナリ如斯人口ニ多少ノ差アル所以ノモンハ即チ其開化ノ度ニ非常ノ相違アルヲ證スル所以ニシテ首府及各市ノ發達進歩ニ比シ各「プロヴィンス」ノ幼稚未開ナルハ實ニ想像ノ外ニ在リ

斯ノ如クナルヲ以テ工商ノ業ハ一ニ繁華ノ地ニ限ラレ市街ヲ除ケル他ノ地方ニ於テハ遊牧ノ民最モ多ク之レニ次クテ農業トス故ニ亞國ノ運命ハ現時ニ在リテハ牧畜及ヒ農業ニヨリテ支配セラルト謂フモ決シテ過言ニアラサルヲ信スルナリ

今其產品ノ主ナルモノヲ擧グレバ家畜ニ牛、馬、羊、豕アリ農産物ニ米、麥、小麥、馬鈴薯、甘藷、甘蔗、玉蜀黍、豆類、牧艸、及ヒ野菜アリ而牧畜ニ伴フ產品トシテ「バタ」、「チース」、「生肉、凍肉、乾肉、鹹肉、肉醬、牛羊ノ皮革、及ヒ羊毛等アリ

牛類 牛類頭數 一八八四年 一〇、二一五、〇〇〇頭 一八八四年 一四、一七一、〇〇〇頭  
 一八八八年 二二、八七〇、〇〇〇頭 一九〇〇年 三〇、〇〇〇、〇〇〇頭

世界ニ於ケル牛類ノ頭數ハ北米合衆國ヲ第一トシ露國之ニ次ク而亞然丁國ハ實ニ第三位ニ在リ亞然丁ニ於ケル牛類ノ頭數ハ約三千餘万頭ニシテ其總價格約九億「ペソ」即チ皇貨十八億圓ニ上レリ今千八百九十五年ニ於ケル牛數表ヲ見ルニ合計二千六百六十九万五千五百二十六頭ニシテ此價格六億六千八百五十二万七千三百九十五「ペソ」ヲ示セリ即チ一頭ノ平均價格僅カニ三十「ペソ」六餘ニ當ルニ過ギズ然ルニ同國家畜ノ總數ハ實際ニ於テ更ニ之レヨリモ多ク總數二千五百万頭此價七億四千万「ペソ」タルベシトハ同國家畜調査家ノ聲言セルトコロナリト云フ  
 今牛類ノ頭數及其價格ヲ示セバ左ノ如シ

當國產牛	雜種牛	外國純種牛	諸種ノ乳牛	農計	一八九五年中ノ總數	一頭當平均價格	總價格
一四、一九七、一五九	四六、七八、三四八	七三、二一六	一、八〇〇、七九九	九四三、〇〇〇	二一、六九一、五二六	一五「ペソ」	二二、九五七、三九五
五〇〃	四〇九〃	七〇〃	七〇〃	七〇〃	三〇、〇〇〇	二五「ペソ」	二、三三九、一七、四〇〇
二八、八八六、四〇〇	二一、〇〇〇、九三〇	六六、七二〇、二八〇	六六、八五二、三九五	六六、八五二、三九五			

是等亞然丁產牛類ノ歴史ヲ尋ヌルニ當國產牛ノ祖先ハ純然タル野牛ニシテ四望際ナキパンパスノ平野及ヒ其他各所ノ原野ニ自然ニ繁殖セルモノナリ体格ハ比較的小ナリシモ強壯活潑ニシテ善ク勞力ニ堪ユ西班牙人渡來ノ始メ彼等ハ印甸人ヲ使役シ或ハ自ラ馬ニ跨リテ平原ヲ馳驅シ是等野生ノ牛類ヲ捕獲シテ其皮ヲ剝キ其肉ヲ食ヘルモノニシテ其原野ガ一定ノ所有者ナカリシ如ク其牛類モ何人ノ所有ト云フコトナク隨意ニ之ヲ自己ノ所有トナスコトヲ得タリシナリ然ルニ今ヲ距ル約三十年前ニ至リ始メテ不完全ナル牧場ノ狀態ヲ形成スルニ至レリ即チ彼等ハ斯ノ所屬不明ノ土地ヲ隨意ニ區劃シ所有者ナキ野牛ヲ隨意ニ捕獲シ來リテ之ヲ區劃アル域内ニ放飼シ以テ漸次ニ牛類ノ繁殖ヲ來タシ茲ニ牧畜ノ端緒ヲ開キ年月ヲ經過スルニ從ヒ次第ニ改良ノ必要ト利益トヲ覺知シ茲ニ始メテ外國產種牛ノ輸入ヲ見ルニ至レリ

亞然丁ノ野牛ヲ改良シ其牧畜ニ非常ナル發達ヲ來タセルハ實ニ英國產種牛ヲ輸入シテ交尾改良セシメタルニ始ル而英國產種牛ノ輸入ハ今ヲ距ル約二十年前ニ初マレリ然レモ最初ノ數年間ハ殆んど試驗的時代ニ屬シ其利害得失モ明カナラサリシ故隨ツテ輸入額モ尠ナク其輸入頭數ヲ知ル能ハ



南米亞然丁國々勢一斑

ザリシガ降ツテ千八百九十二年ニ至リ英國ヨリ百三十頭(此價三百三十磅三志)ノ輸入アリシヨリ爾來今日ニ至ル迄毎年其輸入ヲ増加セリ之レ外國産牛ガ亞然丁牛ノ乳量及體質ヲ改良進步セシメタル好結果ニ基クモノナリ佛國ヨリハ千八百九十六年最良ナル種牛數頭ヲ輸入セルヨリ以來引繼キ毎年少ナカラザル輸入ヲ見ルノミナラス尙北米合衆國露國及ヒ歐洲大陸諸國ノ牛種ヲサヘ輸入シ以テ互ニ優等ナル雜種ヲ得ノコトヲ力メタリ是等ノ輸入ニヨリテ亞然丁牛類ハ各種ノ方面ニ著シク改良セラレタルハ牧畜家ノ齊シク認ムル事實ナリトス

千八百九十五年中歐洲大陸(英國ヲ除ク)ヨリ輸入セル牛數ハ合計百六十五頭ナリシガ千八百九十六年ニハ七百十六頭ニ進ミ此價佛貨千五百八十五万五千「フランク」ニ上レリ而英國ヨリノ輸入額ハ千八百九十五年ニ三百八十二頭此價九百〇四磅十四志千八百九十六年ニ九百八十九頭此價二千四百二十二磅ノ多キニ達セリ

今參考トシテラ、プラタ地方牛類ノ頭數ヲ調査セルモノヲ見ルニ一八三〇年ニ於テ九、二〇〇、〇〇〇頭一八五〇年ニ於テ一四、四〇〇、〇〇〇頭一八七〇年ニ於テ一八、三〇〇、〇〇〇頭一八八七年ニ於テ二九、七〇〇、〇〇〇頭ヲ有セリ而同年中亞然丁牛類ノ頭數ハ二二、八七〇、〇〇〇頭ナリキ一八八八年末調査ニ係ル亞然丁乳牛ノ頭數ハ合計二二、八七〇、〇〇〇頭ニシテ之ヲ各地方ニヨリ區分スレバ左ノ如シ

アエノス、アイレス	九、六〇〇、〇〇〇頭
エントレ、リオス	四、一〇〇、〇〇〇頭
サンタ、フェー	二、三〇〇、〇〇〇頭
コルドバ	二、一〇〇、〇〇〇頭
コリエンテス	一、八〇〇、〇〇〇頭

サンチエーゴ	五九〇、〇〇〇頭
サン、ルイス	四八〇、〇〇〇頭
バンパス	四七〇、〇〇〇頭
カタマルカ	二四〇、〇〇〇頭
ツクマン	二〇〇、〇〇〇頭
メンドサ	一八〇、〇〇〇頭
サルタ	一六〇、〇〇〇頭
シユシユイ	九〇、〇〇〇頭
リオヤヤ	一六〇、〇〇〇頭
リオ、チーグロ	八〇、〇〇〇頭
サンジユアン	五〇、〇〇〇頭
ミツシヨンス其他	二七〇、〇〇〇頭
計	二二、八七〇、〇〇〇頭

馬匹

世界中多數ノ馬匹ヲ産スル國ハ第一露國、第二北米合衆國ニシテ亞然丁國ハ第三位ニ在リ亞然丁馬匹ノ起原ハ牛類ト同シク又天産ノ野馬ニ在リ印甸人ガ海濱河岸ニ部落ヲ爲シテ住居セル時ニ方リ彼等ハ巧ミニ野馬ニ跨リテ廣漠タル原野ヲ馳騁シ旅行ニ戰鬪ニ又貨物ノ運搬ニ皆之レニ依レルモノナリ然ルニ千五百十五年西班牙人ジャスワリスノ亞然丁發見アリシヨリ多數ノ西班牙人ハ決河ノ勢ヲ以テ斯地ニ没入シ來レル時ニ方リペードロ、デ、メンドサハ牝牡各百頭ノ馬匹ヲ歐洲ヨリ輸入シテ之ヲラ、プラタ河畔ニ飼育シ同時ニ多數ノ殖民ヲ企テ、馬匹養ノ事ニ從ハシム之

南米亞然丁國々勢一斑



レ亞然丁馬匹發達ノ起原ナリ  
 然ルニ數年ノ後河岸ノ西班牙殖民ト土着印甸人トノ間ニ事アリ印甸人大舉シ來リテ西班牙人ヲ襲撃セル時ニ方リ西班牙人ハ悉ク其家畜ヲ率ヒテ一時之ヲ南方ノ海濱ニ避ケタルコトアリシガ歟卒ノ際收拾スル能ハサリシ牝牡各數頭ノ馬匹ハ自然繁殖シテ以テ現今パンパスノ廣原及ヒサラニアスノ平野ニ繁殖セル「クリオロ」種ノ起原ヲ爲セリ之レ實ニ亞然丁國產馬ノ基礎タリシナリ是等國產馬ハ天產馬ト西班牙馬トノ交尾ニヨリテ成レル雜種ニシテ從來ヨリ自然ニ繁殖セル純粹ノ天產馬ハ今日之ヲ牧場ニ見ルコト稀ナリ而次表ニ所謂雜種馬ナルモノハ後年馬匹ノ改良ヲ企テ、歐洲ノ各國ヨリ健實優等ナル馬匹ヲ輸入シテ國產馬ニ交尾セシメタル雜種ナリトス  
 爾來二百五十年後ノ今日ニ於ケル亞然丁產各種馬匹數ヲ見ルニ合計五百餘萬頭ニ及ビ此價格約八倍餘ニ上レリ今千八百九十五年ニ於ケル亞然丁國馬匹數ヲ見ルニ

馬ノ種類	頭數	單價(金貨)	價格(金貨)
國產馬	四〇一六、二九七	十	四〇一六二、九七〇、二九七
雜種馬	四一四、九八五	五十	二〇、七四九、三五〇
純種馬	一五、五七七	一千	一五、五五七、〇〇〇
驢	一九七八七	十	一九七八、七二〇
騾	二八五、四九七	三十五	九、九九二、三九五
普通馬匹數計	四、四四六、八五九		七六、四六九、三三〇
驢ノ數計	四八三、三六九		一一、九七一、二五
騾ノ數計	四、九三〇、二二八		八八、四四〇、三三五
總計			

ニシテ千八百三十年ニ於テ二、四〇〇、〇〇〇頭ナリシモノ千八百五十年ニハ三、四〇〇、〇〇〇頭ニ進ミ千八百六十四年ニハ三、八七五、〇〇〇頭千八百七十年ニハ四、六〇〇、〇〇〇頭千八百八十四年ニハ四、一八六、〇〇〇頭千八百八十七年ニハ五、一〇〇、〇〇〇頭千八百八十八年ニハ四、四〇〇、〇〇〇頭ヲ有セルモノ(千八百七十年及千八百八十七年ニハラブラタ地方馬匹ヲモ算入ス)千八百九十五年ニハ前表ノ如ク四百九十三万二千八百二十八頭ヲ有シ現今ニ於テハ五百餘萬頭ノ盛況ヲ見ルニ至レリ今參考ノ爲メ千八百八十年ニ於ケル馬匹數ヲ各地方ニ區分スレバ左ノ如シ

- アエノス、アイレス 一、八六〇、〇〇〇頭
- エントレ、リオス 七二〇、〇〇〇頭
- サンダ、フェー 五三〇、〇〇〇頭
- コルドバ 四一〇、〇〇〇頭
- コリエンテス 二六〇、〇〇〇頭
- サンチアゴ 一一〇、〇〇〇頭
- サン、ルイス 一一〇、〇〇〇頭
- パンパス 一一〇、〇〇〇頭
- カタマルカ 五〇、〇〇〇頭
- ツクマン 四〇、〇〇〇頭
- メンドザ 四五、〇〇〇頭
- サルタ 三〇、〇〇〇頭
- ジュニニ 二〇、〇〇〇頭
- リオ、チャ 二五、〇〇〇頭



南米亞然丁國々勢一斑

リオ、チトクロ 一〇、〇〇〇頭  
 サン、シユアン 二五、〇〇〇頭  
 ミツシヨンス其他 三五、〇〇〇頭

以上

此國產「クリオロ」種（「クリオロ」トハ西班牙語ニテ國產ノ義ナリ）馬匹ハ土人及歐洲人ノ極メテ稱用スルトコロノモノニシテ強壯ナル筋肉ト寒暑ニ堪ヘ得ル體質ト有シ價亦極メテ廉ナルヲ以テ歐洲大陸及北米合衆國等ヨリ各種純良ナル種馬ヲ輸入シテ馬匹ノ改良ヲ熱心ニ計畫シツ、アルニモ係ハラス依然トシテ「クリオロ」種ノ減少癡滅セサルハ全ク同種ノ實用上十分ニ其勞力ニ服シ得ルノ特性ヲ有スルノミナラズ尙舊クヨリ長ク同地方ニ繁殖ジテ同地方ノ風土及ヒ氣候ニ馴レ居ルノミナラズ資性健剛ニシテ病ニ犯サレサル等各種ノ長所アルガ爲メナリ而其價ノ廉ナルハ其飼育ニ手數ヲ要セサルコト健全ナルコト其産額ノ多數ナルコト其種馬ノ價廉ナルコト美術上ヨリ見タル外貌ガ歐洲産ニ比シ多少劣ルトコロアルトニ由レリ今同國ニ於ケル是等「クリオロ」種ノ種馬及其他ノ價格ヲ聞クニ最高皇貨三十圓最低十五圓ナリ而去勢馬ハ尙之レヨリモ廉ク一頭ノ平均價格十圓内外ニシテ牝馬ノ廉ナルモノニ至リテハ僅々四五圓内外ノ價ヲ有スルニ過ギズト云フ

亞然丁馬匹繁殖史中「クリオロ」種ニ就キテ調査記述セルトコロヲ見ルニ同種ノ最駿ト稱スル標進姿勢ハ極メテ善キ比例ニ發育シ一照批難スヘキ點ヲ發見セズ而同種ノ普通體形ハ其軀幹ニ比シ頭 稍ヤ大ナリ  
 耳 長クシテ尖レリ  
 眼臉 上部稍ヤ凸起セリ

眼球 大ニシテ且ツ駿逸伶俐ナル光アリ  
 前額 扁平ニシテ且ツ廣シ  
 鼻 稍ヤ突起シ鼻孔比較的大ナリ  
 唇 上唇ハ稍ヤ長クシテ下唇ヲ蔽ヘリ  
 頸 比較的大クシテ且短カシ  
 肩 頸ニ比例シテ一般ニ稍ヤ厚シ  
 胸脯 肩厚キガ故ニ十分ニ發育セリ  
 脊梁 平直ナルモ間々自然的波狀ヲナス  
 腹 稍ヤ大ナリ之レ多ク枯艸及ヒ穢糞ヲ飼料ニ供スルガ故ナリ  
 臀 多少圓形ヲ呈セルモ間々低下セルモノアリ  
 四脚 比較的稍ヤ短クシテ筋肉ノ發育著シ  
 膝關節 一般ニ節高ク大ナリ  
 蹄 關節ノ大ナルニ比ズレバ小ナリ  
 鬣 粗ニシテ長サ及密度ハ普通ナリ  
 体毛 短クシテ光澤アリ  
 尾 密ニシテ且長シ  
 軀幹 較ヤ小ナルモ實用上批難スヘキ點ナシ  
 要之ニ國土南北ニ長クシテ氣候ニ寒暑ノ差違アリ又原産馬トメンドサノ輸入セル西班牙産馬トハ殆ンド全ク其血液ヲ混淆セルモ間々然ラサルモノ亦在リ北疆ノ高地西方安的斯山麓ノ山岳及礪礪地南部海岸ノ沙地及ヒ東北部河邊ノ泥地等ヲ始メトシテ野艸ノ種類風雨ノ多少水土ノ性質乾濕ノ

南米亞然丁國々勢一斑



度合等天然ノ相違ハ其ノ自然淘汰ニヨリテ各地ノ產馬ニ各特別ナル長所ト短所トヲ生セシム故ニ亞然丁產馬ヲ細查シテ各種ノ點ニ於テ多少ノ相違アルヲ見ルハ免カレサルトコロナリ即チ北部ニ產スル馬ハ一般ニ軀幹甚々大ナラス蹄ハ稍ヤ大キクシテ比較的軟弱ニシテ蹄熱ヲ醸シ易キガ如キ傾アルモ南部地方ノ產馬ハ體軀極メテ大キクシテ筋肉十分ニ發育シ西方山地ノモノハ牀驅及蹄脚共ニ小サク蹄ハ堅硬ニシテ岩石礮確タル地域ノ驅使ニ適セリ

野生馬ハ極メテ自由ニ生長シ資性活潑ニシテ且ツ極枯鞭韃ニ馴レサルヲ以テ過敏ニシテ稍ヤ恐怖心強ク一度ビ其方法ヲ誤レハ終ニ恢復スヘカラサル驛馬ニ陥ラシムルヲアルモ能ク注意シテ漸次ニ馴育スルトキハ極メテ柔順ニレテ且銳敏ナル良馬ト爲ヌヲ得ベシ但シ亞然丁國ノ馬匹ハ一般ニ粗食ニ堪ヘ勞力ニ服シテ疲勞スルヲ少ナキノミナラス過度勞役ノ通弊タル蹄充血ヲ患フルヲ他國產ニ比シ比較的少ナキヲ以テ遠路ヲ騎驅シ重車ヲ挽カシメ若クハ高荷ヲ駄ハシムル等其他百般ノ勞役ニ服セシムルニハ普通ニシテ且適當セル馬匹ト稱スルヲ得ベシ

雜種馬

今ヲ距ル約十年前歐洲各國ヨリ移住セル亞然丁移民及政府ハ自國馬匹ヲ改良シ其天然ヲ發揮スルト同時ニ短ヲ去リ長ヲ留メ以テ世界ニ冠タルモノト爲サント欲シ世界ノ各地ヨリ各種粹駿逸ナル種馬ヲ輸入シ以テ國產馬ノ改良淘汰ニ着手セリ政府及住民ガ如斯銳意改良ニ熱中セル結果トシテ現時亞國ノ各牧場ニハ各種外國產種馬ト共ニ其雜種ノ駿逸ヲ見ルヲ極メテ多シ雜種馬普通ノ最高價格ハ金貨六七十一「ペソス」ニシテ其最低ナルモノニ至リテハ三十四「ペソス」ナリ是等改良雜種ノ特點ハ殆ンド一様ニシテ大同小異ナル國產馬ノ體格ト資性トヲ改良シテ騎乘用、荷車用、駄用、及農耕用等各種特別ナル體格ト資性トヲ與ヘタルニ在リ

今亞然丁國ニ於ケル各種ノ雜種馬ヲ其種類ニヨリテ區分スレバ

- 純血「アラブ」ノ雜種 (國產馬ト)
  - 「アンブロ、アラブ」ノ雜種 (同上)
  - 「クリーフラン」ノ雜種 (同上)
  - 「オルロフ」ノ雜種 (同七)
  - 「タルペー」ノ雜種 (全)
  - 「ベルシエロン」ノ雜種 (全)
  - 「クリデスター」ノ雜種 (全)
- 等ニシテ其他尙是等雜種ト國產馬トノ雜種及ヒ雜種間ノ雜種アリ何レモ頸部四肢ヲ始メトシテ一般ニ其美貌ト耐忍力トヲ増シ兼テ其柔順性ト訓練性トヲ加ヘタルヲ見ル故ニ是等雜種馬ノ聲價ハ國產馬ニ比シ頗ル高シトス

純種馬

純種馬ハ世界各國(就中歐洲產ヲ多シトス)ヨリ輸入セルモノナルヲ以テ其價極メテ貴ク最高千五六百弗ヨリ最低五六百弗ニ及ビ平均一千弗ノ價格ヲ有セリ然レモ是等ハ皆國產馬及雜種馬改良用種馬ナルヲ以テ他ノ諸種ノ如ク其數多カラス而富有ナル牧畜家ハ其贅澤及嗜好ノ點ヨリ其牧場用種馬ノ外ニ乘用及挽用ノ駿逸數十頭ヲ貯フルモノサヘアリ

驢馬

當國產ノ驢馬ハ支那產ノモノニ比シ稍ヤ大キク其載重力亦多キヲ加フ然レモ其價格ハ純國產馬ニ比シ甚シキ相違ナキヲ以テ比較的廉ナリトス

驢馬ヲ多ク產スルノ地ハ西方國境ノ山地ニシテ其之ヲ多ク使用スルハ坂路崎嶇タルノトコロ樹下石上各種障害物ヲ横ハレルトコロヲ通過スルニ適當ナルノミナラス體軀小ニシテ駄物ノ揚卸ニ便



ニ又柔順(平生)ニシテ小兒及婦女ノ驅使ニ便ナルカ爲メナリ而南部ノ寒地ニテハ冬期其綿毛深キ毛皮ヲ得ルノ目的ヲ以テ之ヲ飼養スルモノアリト云フ

驢馬

驢馬ノ使用ハ忍耐力量ク長壽ニシテ且粗食シ能ク挽負ノ力ヲ減セザルニ在リ而驢馬ノ如ク飼育ニ手數ト費用トヲ省キ及坂路ノ昇降ニ適セルヲ等亦特殊ノ點ナリトス

此種ノ產地ハ西方及北方ノ高地及南部地方ト是等地方ニ接セル平地ニシテ山岳ト平原トヲ交ヘタル地ニ多シ然レモ外國ヘノ輸出ハ驢馬ト共ニ極メテ少ナシトス價格ハ最高金貨五十「ペソ」内外最低二十「ペソ」内外ニシテ平均相場ハ三十五「ペソ」内外ナリトス

亞然丁國馬匹ノ輸出地ハ佛國及南阿ノ喜望峰地方ヲ最トス英米ニモ亦輸出スルコト多シ佛國ノ馬商ハ其股上ニ在ル特別ナル烙印ニヨリテ皆亞然丁產馬ヲ識別スト云フ而亞然丁產馬ノ歐洲市場ニ其價ヲ減スルハ全ク此ノ烙印ノ存スルニ依ルモノニシテ烙印ノ有無ハ其馬ノ強弱驍騁ニ毫モ關セサルモ之レガ爲メニハ美ヲ損シ一ハ其疾病アルヲ疑ハシムルノ嫌アリ故ニ歐洲市場ニ於テハ一般ニ之ヲ嫌惡スルノ弊アリ之レ或ハ狡獪ナル馬商ガ亞然丁產馬ノ皆其烙印アルヲ利用シ奇貨居クベシト爲シ殊更ニ其價ヲ廉ナラシムルノ策ニ出テタルニハ非ル歟其ハ亞然丁取引價格五百「フラン」内外ノモノモ一度歐洲市場ニ運バル、ヤ優ニ一千五百「フラン」ニ賣却シ得ラル、ノ一事ニ徵スルモ明カナル事實ナリト云フ

英國ノ馬商ハ南阿地方ニ亞然丁馬ヲ輸入シテ好結果ヲ得タリ英國ハ其本國及加奈太ニ於テ已ニ十分善良ナル馬匹ヲ有スルノミナラス其殖民地タル濠洲ノ如キハ有名ナル牧畜國ニシテ馬匹ノ產出モ亦極メテ多數ナルニモ關セス殊更ニ亞然丁種ノ馬匹ヲ南阿地方ニ輸入セルハ一ハ其價ノ廉ナルト一ハ其山地ノ馳騁ニ適スルトニ在リ昨年中英國ノ南阿ニ事アルヤ英國ハ一度多數ノ濠

洲產馬匹ヲ南阿ニ輸入シテ戰國用ニ供セシモ其結果頗ル不良ナリシヲ以テ更ニ軍馬購買委員ヲ亞然丁ニ派シ騎兵用馬匹二万六千頭ヲ購ヒ之ヲ南阿ニ回送セリ右軍馬ノ購入價格ハ最高七磅最低三磅ニシテ極メテ馳逸ナル良馬ヲ得ル爲メニ嚴密ナル試験ヲ施コシ合格セルモノノミヲ採用セリト云フ

山羊及綿羊類

亞然丁國ニ於ケル羊類ノ頭數ハ約一億二千万頭ニシテ世界ニ於ケル第二位ニ在リ(濠洲第一、亞然丁第二、露國第三、北米合衆國第四)今其歴史ヲ尋ヌルニ西班牙人ノ未ダ此地ヲ發見セサル以前已ニ多少劣等ナル羊類ノ原野ニ生息シ且繁殖シタルモノ、如シ然ルニ紀元千五百五十五年西班牙人ニユニエス、デ、シヤヴエスナル者始メテ中等ナル西班牙種ノ牝羊六頭ヲラ、プラタ地方ニ輸入セリ

此六頭ノ子孫亞國ノ野羊ト交尾繁殖シ茲ニ始メテ地羊(クリオロス)種ヲ形成セリ地羊ハ當國ニ於テ之ヲ國產種若クハ原種ト稱スルトコロノモノニシテ同國ニ於ケル牧羊ノ發達ハ實ニ此種ニ俟ツトコロ多カリシナリ然ルニ千八百十四年ノ頃ヨリ地羊ハ漸次減少ノ傾向ヲ現ハシ同國牧畜事業ニ一大恐慌ノ起ラントスルニ際シ牧羊家ハ茲ニ始メテ其必要ヲ迫ラレ外國產各種ノ羊類ヲ輸入シテ自國ノ羊種ヲ改良セントノ企ヲ起シ千八百三十五年ヨリ同三十八年ニ至ルノ間續々トシテ歐洲種並ニ北米種ノ羊種ヲ輸入シ次テ濠洲產種羊ヲ試育セリ然ルニ風土ノ相違ト飼料ノ性質トハ是等外國種羊ノ繁殖ニ適セス屢々試ミテ屢々失敗ニ終レルモノ多カリシガ千八百五十五年ニ至ルニ及ンデ牧羊家ハ漸次其經驗ヲ増シテ飼育方法ニ注意スルトコロアルト同時ニ地質ノ改良及ヒ羊體質ノ同化ヲ來タシ始メテ之ヲ野飼シ得ルニ至レリ



南米亞然丁國々勢一斑

- 第一、 (クリオロス)地羊
- 第二、 リンコロン種
- 第三、 メリノリス、ラングヴェー種
- 第四、 ネグレット種即チ黒羊
- 第五、 ヴェルモン種
- 第六、 ラングヴェー種
- 第七、 エレクトラール種

等ニシテ其他尙ホ濠洲産ノ特種ヲ飼養スルモノ少ナカラス而是等各種ノ羊ヨリ得タル改良雜種ノ數ニ至リテハ實ニ枚舉ニ遑アラズ而今日ニ於テハ雜種羊最モ繁殖シ其數約七千餘万頭アリ

クリオロス種  
此種ハ千八百十四年頃ヨリ漸次減少ノ傾テ有シ毎年ノ減少高約百万頭ニ達セリ故ニ千八百九十五年ノ調査數千七百九十三万八千〇六十一頭(實際ハ尙ホ多數ニシテ其總數二千二百四十二万三千頭ヲ有セリトハ同國ニ於ケル羊調査委員ノ意見ナリ)ニシテ調査以來五年ヲ經過セル今日ニ於テハ已ニ五百万頭ヲ減少セル計算ナリ此計算ニシテ一定不變ニ推移スルトキハ同國ニ於ケル地羊ハ向後十三年(乃至十七年)ニシテ全ク絶滅スヘキ計算ナリトス

此種ノ羊毛ハ其質不長ナルヲ以テ精良ナル織物ニ使用スルヲ得ス多クハ毛布團ヲ作り若クハ絨氈製造用ニ供ス而毛ノ産額亦他ノ純種及ビ良質ナル雜種ニ比シ少ナシト云フ

リンコロン種  
此種ハ「ブエノス、アイレス」州ノ北部及ビ西北地方ニ多ク産シ繁殖亦極メテ速カナリ同種飼養上ノ特色ハ体質強健ニシテ克ク寒暑ニ堪ヘ未開不毛ノ原野ニテモ克ク其發育ニ適スルカ故ニ同國

ニ於テ新ニ羊牧場ヲ開ク最初ノ數年間ハ專ラ此種ヲ飼養シ其糞尿ニヨリテ地質ヲ改良シ土地ノ十分肥沃トナリ豊艸飽芝ノ繁茂スルヲ俟ツテ始メテ各種ノ羊類ヲ放飼スルモノ多シ之レ實ニ「クリオロス」種及ビ此種ノ特色ナリト云フ

此種ノ羊毛ハ其織緯極メテ纖細ニシテ緊張力ニ乏シ然レモ其價ノ廉ナル點ヨリ考フレバ普通ノ機業家ニハ必用欠クベカラサルモノニシテ工業家ガ此種ノ羊毛ヲ賞用スルハ全ク其織緯ノ細クシテ美ナルト價ノ廉ナルトニ在リ而其價ノ廉ナルハ羊ノ健康ニシテ手數ヲ要セズ不毛ノ處女野ニ放飼スルニ適スルニ在リ

今華尾セル同種ノ羊毛ニ關シ其收穫ノ度ヲ計算スルニ南部地方ハ最モ此種ノ飼育ニ適シ西部ノ高地之ニ次キ北部ノ温暖地最モ少ナシトス

此種ノ産毛額ハ每頭平均百分ノ五十六ニシテ最高六十五ヲ得

チグレット種即チ黒羊  
此種ノ羊ハ多クアイレス、アイレス附近ニ飼養セラレ其最良ナルモノニ至リテハ同州ノ南部及ビ北部地方ニ多ク産ス

「チグレット」種ト「ラングヴェー」種トノ華尾ニヨリテ成レル雜種ハ其体形一種特別ニシテ容易ニ之ヲ區別スルコトヲ得

此種ノ需用ハ「ラングヴェー」種ト共ニ最モ多ク隨ツテ價モ亦貴シトス南部産最良品ハ每噸八「ベンス」五十西部産品ハ八「ベンス」ニシテ北部ノ最良品ハ七「ベンス」八十ナリシモ中等品ハ七「ベンス」ニテ取引セラレタリ之レ千八百九十六年及同七年ノ首府取引價格ナリトス

ベルモン種  
此種羊毛ノ地種ト異ナレル點ハ其織緯極メテ細微ニシテ且ツ長ク光澤アリ紡績ニ便ニシテ其纖細



南米亞然丁國々勢一斑

ナル割ニ其耐寒力ノ強キニ在リ  
此種ト「ランブエー」種トヲ羣尾セシメテ得タル雜種ハ毛質ニ多少ノ相違アリ而其肉味モ十分膳  
ニ上スニ足レリ

「ランブエー」種

此種ノ特長トスルトコロハ各種ノ他ノ羊類ト羣尾セシメテ以テ優等ナル雜種ヲ得ルニ在リ  
即チ「メリノー」種ト交尾シテ「メリノース、ランブエー」種ヲ作り「ネグレット」種ト合シテ「チ  
グレット、ランブエー」種ヲ得ルノミナラズ尙ホ「リンコルン」及ヒ「ベルモント」種トノ雜種ト  
シテ「リンコルン、ランブエー」及ヒ「ベルモント、ランブエー」ノ兩形雜種ヲ得タリ其他尙ホ各  
種ノ羣尾ニヨリテ得ラルベキ複雜種及從複雜種等枚舉ニ遑アラズ

此種ノ産毛額ハ初メハ平均百分ノ三十一ヨリ三十四ナリシモノ漸次改良セラレテ現今ハ最高百分  
ノ四十五ヲ得ルニ至レリ而此種羊毛ニシテ南西ノ寒地ニ産スル最良ナルモノハ毎十基ニ付八「ペ  
ソス」ヨリ八「ペソス」五十ノ價ヲ有シ北部産ノモノハ七乃至八「ペソス」ヲ價セリ  
エレクトラール種

○此種ノ羊毛ハ絨細ニシテ縮波多ク最モ毛糸ノ製造ニ適シ其最極メテ輕シトス  
○始メ亞然丁國ニ於テ地羊ノ最モ繁殖セシ地方ハサン、シュヴオン、サン、ルイス、コルドバ、及ヒ  
メンドサ等ニシテ其總數一時四千餘万頭ニ達シタリシガ千八百八十八年ニハ三千餘万頭トナリ同  
九十五年ニハ二千二百四十二万二千五百七十六頭ニ減少セリ反之シテ雜種羊ハ其繁殖極メテ速カ  
ニシテ千八百八十八年ニ五千五百万頭ナリシモノ同九十五年ニハ七千〇十三万二千七百三十四頭  
トナリ現今ハ已ニ九千万頭ニ進ミタリ純種羊毛亦千八百八十八年ニ三十五万頭ノモノ同九十五年

ニハ四十一万九千四百三十三頭ニ増加シ現今ハ五十餘万頭ヲ有スルニ至レリ之レ羊改良ノ目的ヲ以  
テ外國ヨリ輸入若クハ内國ニ於テ外國産純種ヲ羣尾繁殖セシメタル結果ニ列ナラズ  
今千八百八十八年調査ニ係ル各州羊産出額ヲ示セハ如左

フエノス、アイレス	五五、四〇〇、〇〇〇頭
エントレ、リオス	四、九〇〇、〇〇〇頭
サンタ、フエー	二、九〇〇、〇〇〇頭
コルドバ	二、四〇〇、〇〇〇頭
コリエンテス	六一〇、〇〇〇頭
サン、チアーゴ	七八〇、〇〇〇頭
サン、ルイス	二四〇、〇〇〇頭
パンパス	一、六七〇、〇〇〇頭
カタマルカ	一五〇、〇〇〇頭
ツクマン	四〇、〇〇〇頭
メンドサ	一一〇、〇〇〇頭
サルタ	一六〇、〇〇〇頭
ジュシユイ	六〇〇、〇〇〇頭
リオジャ	六〇〇、〇〇〇頭
リオ、ネーグロ	三〇〇、〇〇〇頭
サン、シュアン	六〇、〇〇〇頭
ミッシヨンス等	六〇、〇〇〇頭

南米亞然丁國々勢一斑



南米亞然丁國々勢一斑

計

七〇、四五〇、〇〇〇頭

二十四

亞然丁國羊毛ノ產出額ハ初メハ其頭數ニ比シ比較的少量ナルノ感アリ之レ或ハ羊數調査ノ不精確ナリシニ由レル理由モアラン又羊飼養方法ノ拙劣ニ起因セシヤモ知レズト雖也兎ニ角其始メニ於テ調査セシ結果ニ依レバ其產出額ハ極メテ少ナカリシナリ今千八百九十年ノ輸出額ヲ見ルニ其總數一億六千基瓦ナリ但右ハ只輸出額ノミニシテ所在各地ニ於テ消費セル額及ヒ倉庫ニ貯藏セル額モ亦少ナカラサルベキヲ以テ總量ヲ時度スルコト能ハサルモ概算優ニ二億基瓦以上ニ上ルナラン然ルニ之ヲ其他諸國同種屬ノ產毛額ニ比スレバ每一頭當リ羊毛ノ供給高僅カニ外國品ノ二分ノ一ニ過ギズ亞然丁羊ノ產毛額其ノ如斯少ナキ所以ハ或ハ其飼育ノ方法其ノ氣候其地質及ヒ飼料等ニ關係スルニハ非ル乎如何トナレバ初メ其產毛額ノ少ナカリシ同種羊毛モ現今ニ於テハ大ニ其產毛ノ度ヲ増加シ千八百九十五年ニ於テハ

羊數總計

九二、九七四、四五三頭

ニシテ其羊毛輸出額ハ

二〇一、〇〇〇、〇〇〇基

ニ當リ每一頭ニ付輸出羊毛量ニ基瓦一六ナリキ故ニ本國ニテ消費スル羊毛額及ヒ在庫羊毛ヲ約六百萬基ト假定シ之ヲ加算スルトキハ一頭ニ付二基瓦三〇ノ羊毛ヲ產スル割合トナル然ルニ歐洲ニ於ケル各種羊ノ每一頭當リ產毛額ヲ見ルニ其平均額ハ一基瓦九七乃至二基瓦ナルヲ以テ其產毛額ニ關シテハ亞然丁ハ大ニ成効セルモノト云フベシ  
過ル數十年間ニ於ケル世界ニ於ケル羊毛ノ產出額ハ一般ニ増加セルヲ見ル但其國土地方ニヨリテハ多少一盛一衰ノ害アルヲ免カレザルモ有名ナル羊毛產地タル濠州及ヒ南米ヲ、アラタ地方ハ其増加ノ度實ニ驚クヘキモノアリ就中亞然丁國ノ如キハ其進步ノ度實ニ世界第一ト稱スルニ足レリ

今過ル三十年間ニ世界ニ於ケル羊毛ノ產出額ヲ調査スルニ左ノ如シ

國名	千八百七十年(噸)	千八百八十年(噸)	千八百九十年(噸)
英 國	六二、四四〇	六六、八八五	六二、八八五
歐 大 陸	三三、〇〇〇	一七九、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
北 米 合 衆 國	四九、〇六〇	一三三、〇〇〇	一四九、九七一
南 阿 洲	二六、七六〇	一三七、三六八	二〇七、七三四
其 他 諸 國	一〇、七九六	二六、七六〇	三二、二六〇
合 計	一三三、八九六	五九、三二八	七〇、七一六
	一九、一七八	一一四、一七六	一六五、六四八
	四二、五三〇	七〇、〇七六	八八九〇一四

上表ニヨリテ羊毛產出ノ増減ヲ檢スルニ英國ハ八十年ニ多少ノ増加アリタルモ九十年ニハ再ヒ減少シテ七十年ニ比シ僅カニ四五噸ノ増加アリシノミ歐大陸ニ至ツテハ却ツテ二萬三千噸ノ減少ヲ見ル反シテ北米合衆國以下ノ五地方ハ何レモ多少其產額ヲ増加シ就中「アラタ」地方ハ最其進步ヲ見ルニ至レリ即チ「アラタ」ハ八倍強濠州ハ八倍強北米合衆國ハ三倍強南阿地方ハ三倍強ノ増加ヲ見ル而其他諸國亦約二倍強ノ増加アリ千八百九十年以後「アラタ」地方羊毛ノ產出額ハ駭々トシテ益々其量ヲ増加シ來リ就中千八百九十四年ヨリ同五年ニ至ルノ間ハ殊ニ其量ヲ加ヘ千八百九十六年ノ増加額ハ少シク振ハサルノ觀アリシモ千八百九十八年ニ至リ再ヒ其數ヲ増加シタルヲ見ル即チ千八百九十四年ニハ其輸出額二十五萬四千三百餘噸ナリシモノ翌五年ニハ四萬七千四百八十一噸ヲ増加シテ三十萬千七百八十一噸ヲ輸出シ六年ニハ三十二萬一千八百七十五噸

南米亞然丁國々勢一斑

二十五



南米亞然丁國々勢一斑

ナリシモノ同七年ニ於テハ三万四千四百五十四苞ヲ増シテ同年度ノ輸出合計ハ三十五万六千三百二十九苞ノ多キニ達セルヲ見ル  
 今千八百九十六年及七年ノ二ヶ年間ニ亞然丁國ヨリ輸出セル羊毛ノ仕向地ヲ示セハ如左

國名	仕向港	一八九七年—一八九八年	一八九六年—一八九七年	比較増(減)
佛國	ドンクルク	一、二六五八四	一、三五、二二二	(八、六三八)
獨乙	ハンアルヒ	六、九七八一	五、四、五四〇	一、五、二四一
白耳	アンヴェルス	六、二、二五二	六、二、四七五	(二二三)
獨乙	ブレイトン	四、三、八五八	三、三、〇九二	一、〇、七六六
英太	リパブール	二、二、五八四	一、九、六二四	九、九六〇
佛國	サエノワ	一、七、六二六	八、九二六	八、七〇〇
佛國	ル、アール	五、一、三三七	一〇、三、〇〇四	(五、一、六七)
佛國	マルセーユ	三、五、七七七	七、〇〇	三、八七七
英國	ロンドン	三、三、五一一	三、八、二二	五、三九九
佛國	ボルド	一、四、七九九	二、一、九〇	(七、一一)
合計		三、五、六、三三九	三、三、一、八七五	三、四、四、五四

即チ亞然丁羊毛ノ仕向先ハ佛國ヲ第一トシ獨國ヲ第二トス全佛國ヘノ輸出高ヲ合計スルニ千八百九十七年度ニハ一三六、八七七苞ニシテ千八百九十六年度ニハ一四八、四〇六苞千八百九十五年度ニハ二五五、八〇二苞ナリシヲ以テ九十六年ハ九十五年ニ比シ十萬七千三百九十六苞ヲ減シ九十七年ハ九十六年ニ比シ更ニ一萬一千五百七十九苞ヲ減セリ之ニ反シテ獨國ヘノ輸出ハ千八百九十七年ニハ一三、六三九苞九十六年ニハ八三、六三二苞九十五年ニハ一、二二六、三三五苞ナリシヲ以テ九十六年ハ九十五年ニ比シ三萬九千七百〇三苞ヲ減セルモ九十七年ニ至リテハ二萬七千〇〇七苞ヲ増加セリ而英伊ノ兩國亦大ニ増加セルヲ見ル之ニ亞然丁羊毛ノ輸出ハ一般ニ於テ大ニ増加シ二十餘年以前ニ在リテハ歐洲毛織物製造家ニ直接取引セラレタル額ハ其生産額ノ八「ヘルセント」ニ過ギザリシモ現今ニ至リテハ七十五「ヘルセント」ノ多額ヲ見ルニ至レリ而將來亞然丁ガ其羊毛ノ輸出ニ於テ如何ニ成効シテ世界中ニ於ケル最高最優ノ地歩ヲ占領スルコト其年所ヲ經過スルニ從ツテ益々其度ヲ進ムルベキハ疑フベカラサルトコロナリトス

現今世界ニ於テ已ニ其羊毛ヲ以テ著名ナル濠洲ニ目ヲ轉スルニ其産額ハ實ニ世界ノ第一位ヲ占ムルモ其輸出額ニ至リテハ却ツテ亞然丁ニ劣ルヤ遠シ而其産額ニ於テモ將來十數年後ニ至ラハ亦亞然丁ニ一步ヲ讓ラサルヲ得サルノ機ニ接スルコトアラン即チ亞然丁羊毛ノ外國輸出額ハ其産毛額ノ百分ノ七十五ヲ示セルニ反シ濠洲ヨリ歐羅巴ヘ直輸出セル羊毛額ハ其産額ノ百分ノ四十一ニ過キサルヲ以テ其差額ニ於テ三十五「ヘルセント」アリ尤モ濠洲ヨリ外國ニ輸出スル羊毛ハ只歐洲ニノミ限レルニ非スト雖モ世界第一ノ機場タル歐洲ニ輸出スル額ノ比較的亞然丁産羊毛ニ及ハサルヲ見バ如何ニ亞然丁羊毛ノ歐洲市場ニ歡迎セラル、カヲ知ルニ足ラン之レ全ク其産額ノ潤澤ト其價格ノ低廉ナルトニ由ラズンバアラス

濠洲産羊毛ハ東洋諸島北米諸州及ヒ英國ニ輸出セラル、コアルモ亞然丁羊毛ハ是等地方ニ輸出スルコト比較的極メテ少ナク殊ニ東洋ニハ未タ之ヲ輸出セルコトアルヲ聞カス之レ東洋ニハ已ニ支那羊毛ノ潤澤ナルアリ又濠洲ガ近ク其南洋ニ位置セラル、ニ反シ亞然丁ハ未タ東洋ニ向ツテ直航線ノ開ケザルニ由ル而亞然丁羊毛ノ英國ニ輸出セラル、コト尠キハ英國自身ガ已ニ有名ナル其毛ノ產地タルト同時ニ其無限廣漠ナル殖民地産羊毛ノ産出巨多ナルニ在リ

南米亞然丁國々勢一斑







搜索ニ便ナラシムルノミナラス毎日其在荷高、取引高、及ヒ相場表ヲ發行シテ牧畜家及ヒ取引人ノ使ニ供セリ全取引所設立ノ目的ハ需給ノ兩者ニ便益ヲ與フルノミナラス亞然丁羊毛ノ相場ヲ均一ナラシムルノ目的一出テタルモノニシテ爲之ニ利益スルコト實ニ尠小ニアラサルナリ而其取引額ノ百分ノ三ハ手数料トシテ之ヲ取引所ニ收得ス

千八百九十九年及ヒ千九百年ニ於ケルアエノス、アイノス市羊毛取引相場ハ每十基ニ付最高牡羊毛五弗六十仙牝羊毛四弗十仙ニシテ最低價格ハ牡羊毛四弗三十仙牝羊毛三弗五十仙ナリキ  
牛(及ヒ羊)ノ産品

○牛(羊)乳、「バタ」及「チーズ」

牛羊ノ牧畜甚タ盛ニ從ツテ羊毛羊皮及ヒ牛羊肉ノ産額極メテ大ナリシニ反シ乳及牛酪乾酪ノ産額ハ極メテ少ナク生乳ハ牧畜家ガ唯自家用ノ分ノミヲ搾取セシニ止マリ其餘ハ之ヲ賣品トシテ市場ニ上ス「稀ニシテ又之ヲ製造シテ乳酪トナシ之ヲ輸出若クハ卸小賣スルコトナク多クハ皆之ヲ其幼畜ニ哺乳セシメタリ「バタ」及ヒ「チーズ」ノ如キモ過ル十餘年前ニ於テハ未タ之レガ製造販賣ニ從事スル者ヲ見ズ多クハ不完全ナル方法ニヨリテ自家用ノ「バタ」及ヒ「チーズ」ヲ製造セラルニ止マリ然ルニ現今ニ至リテハ是等ノ製品ハ俄然其産額ヲ盛ナラシメ管ニ内國ニ於テ盛ニ之ヲ販賣スルノミナラス漸次外國ニ向ツテ其販路ヲ擴張シツ、アリ今アエノス、アイノス州ニ於ケル是等製造家及ヒ販賣店ヲ調査セルニ

牛乳販賣店

四百十七個所

牛乳搾取家

二百餘個所

牛酪及乾酪製造所

二百餘個所

ノ多キヲ見ルニ至リ乳牛ノ數三十七万一千五百頭ニシテ一年間ニ於ケル搾乳高五倍九千五百万

「リットル」「バタ」ノ産出額二千四百餘万基瓦ニ達セリ今千八百九十五年及六年ニ於ケル牛酪輸出額ヲ見ルニ

一八九五年  
一八九六年

四九四、四〇〇基  
九〇三、〇八七基

ニシテ逐年其産額ト輸出額トヲ増加シ現今ニ至リテハ約二百万基ニ近キ輸出ヲ見ルニ至レリ「チーズ」製造ノ業ハ「バタ」ニ比スレバ其効果ヲ収ムルコト比較的少ナシ今同州ニ於ケル「バタ」ニシテアエノス、アイノス市場ニ見ハレタルモノヲ見ルニ千八百八十八年ニハ一百五十七万八千九百基ニシテ其内外國ヘノ輸出額九千二百十六基此價一千九百「ベソス」(每十基ニ「ベソス」〇六仙餘)在庫高及市内消費高一百五十六万九千六百八十四基ナリシガ千八百九十四年ニハ供給額大ニ減少シ首府市場ニ見ハレタル高五十一万四千四百基ニシテ其内外國ヘノ輸出高二十四万九千九百七十五万「ベソス」(十基ニ付三「ベソス」一仙餘ノ割)市内消費高二十六万四千四百基ナリシヲ以テ千八百八十八年ノ市場現出額ハ千八百九十四年ノ額ニ比シ百六万八千五百基ノ多キヲ占メタルモ此輸出額ハ僅カニ九千二百十六基ニシテ千八百九十四年ノ輸出額二十四万九千九百九千九百九十四年ニハ三「ベソス」〇一仙ノ好況ヲ呈スルニ至レリ之レ最初ノ産品ハ其性質粗悪加フルニ一時ニ多額ヲ供給シ而外國取引人ニ於テモ未タ亞然丁産乾酪ニ意ヲ注カサリシヲ以テ賣行極メテ少ナク自然其價格低廉ナリシモ爾來年々其品質ノ改良ニ伴フテ供給額ヲ制限セルノミナラス亞然丁乾酪ノ聲價漸ク世ニ知ラル、ニ至レルヲ以テ漸次其輸出額ヲ増加スルニ至レリ  
今外國産ノ牛酪乾酪ト當國ノ産品トヲ比較スルニ其品位ニ於テ同等ナルモノヲ執リテ其價ノ廉不廉ヲ調査セバ蓋シ思ヒ半バニ過ルモノアラソ



外國産品

パテグラ	(每十基)	二十二「ベソス」
クリエイコール	(每十基)	二十二「ベソス」五十仙
バルムザン	(每十基)	同上
ゴルゴソラ	(每十基)	二十四「ベソス」五十仙
ポラ	(每十基)	二十五「ベソス」
亞然丁國産品		
普通乾酪	(每十基)	二「ベソス」
チエスタ	(每十基)	十三「ベソス」五十仙
パテグラ	(每十基)	十三「ベソス」三十仙
ポラ	(每十基)	十五「ベソス」五十仙
マルトナ新バタ	(每十基)	十二「ベソス」五十仙
マルトナ鹽バタ	(每十基)	十二「ベソス」
バタ、アルゼンチーナ	(每十基)	七「ベソス」乃至十「ベソス」
バタ、オンボア	(每十基)	八「ベソス」

前表ニヨリテ之ヲ檢スルニ外國産乾酪最低價格ハ十基ニ付二十二「ベソス」ナルモ亞然丁普通乾酪ハ縱令ヒ其品位ニ多少ノ相違アリトハ云ヘ只二「ベソス」ニ過ギズ實ニ甲ハ乙ニ比シ十一倍ノ高價ヲ有セリ最高價格ヲ有スル「ポラ」ニ就キテ見ルモ亦然リ外國産ハ二十五「ベソス」ナルモ亞然丁産ハ十五「ベソス」ニ過ギス故ニ從來外國ヨリ各種ノ乾酪及ヒ牛酪ヲ輸入セルモノ近年ニ至リ漸次其輸入ヲ減少セルノミナラス却ツテ益々亞然丁國産ヲ海外ニ輸出スルニ至レリ之レ全ク同

國産ノ廉價ナルト又近時其製造方法ヲ改良シ歐洲各國産ノモノニ比シ劣ルトコロナキ程ノ良品ヲ製出セルニヨルモノナリ今八十九十七年中亞然丁國ヨリ歐洲及其他ヘノ輸出高ヲ見ルニ合計十一万二千六百六十基ニシテ其仕向地ハ左ノ如シ

伯刺西爾國	五万一千二百基瓦
英國	三万一千五百基瓦
パラグエー國	二万五千十基瓦
ウルグエー國	四千三百五十基瓦
伊太利國	六百基瓦
合計	十一万二千六百六十基瓦

乾肉及鹹肉

此種ノ肉類ハ多ク内地交通不便ノ地ニ於テ之ヲ製シ白國內地未開ノ地及ヒ南米各國ニ輸出スルモノ多キヲ見ル然レモ歐米各國ニ向ツテ輸出スル額ハ極メテ小ナシトス今亞然丁國ノ乾肉及鹹肉仕向地ヲ調査スルニ同輸出額ノ最モ多キハ伯刺西爾ニシテ同國山間ノ小市ニ於テ常ニ之ヲ廣大ナル組上ニ廣ゲカヲ加ヘテ店頭ニ之ヲ陳列セリ伯刺西爾ニテハ之ヲ「カールネ、セツカ」即チ乾肉ト稱シ下等人民ノ常食ニ供セラル、ト恰モ我が鹽魚若クハ乾魚ニ異ナラズ今八十九十五年中亞然丁國ヨリ外國ニ輸出セル是等肉類ノ總高五万五千〇八十九噸此價三百五十三万「ベソス」ノ内約四万餘噸此價約二百五十六万「ベソス」ハ獨リ伯刺西爾ノミニ向ク輸出セルモノナリト云フ其百基當リ平均價格ハ十二「ベソス」二十仙乃至十二「ベソス」六十仙ナリキ

牛肉粉、牛肉醬、肉精、ベングルニ、牛肉罐詰、牛舌、牛腦、牛尾、牛心、牛肝、牛腎、牛腸、膀胱、食用牛脂、牛角、牛骨、牛蹄等亦盛ニ輸出セラル而牛肉粉末ハ牛肉ヲ薄ク剥キ脂肪ヲ去リ



日光(若クハ水分ノ蒸發)ニヨリテ乾燥セシメ細挫シテ粉狀トナセルモノナリ肉醬及ヒ肉精等ハ盛ニ獨乙ニ輸出セラレ同國ヲ經テ東洋ニ向フモノ少ナカラズト云フ

「ペプトーチ」及ビ「ペアシルニー」亦共ニ「リエベック」肉精製造所ニ於テ盛ニ製造輸出セララル舌、尾、心、肝、腎、腦、及ヒ各種肉類ノ罐詰及ヒ鹽漬樽入ハ各所ノ製造所ニヨリテ盛ニ製造セラレ牛膈ハ樂器製造用材料トシテ多ク獨乙、埃國、伊太利ノ三國ニ輸出セラレ膀胱モ亦多クハ是等ノ諸國ニ向フモノトス

牛羊等ノ生畜

生牛及ビ生羊ノ數ハ已ニ前ニ示セルガ如ク牛類ノ總數三千餘萬頭此價格約九億「ペソス」羊類ノ總數約一億二千萬頭此價格約十億「ペソス」馬匹ノ總數約五百頭此價格約八億「ペソス」餘ナルヲ知レリ而亞然丁國ニ於テハ生獸ノ輸出ヲ獎勵シ千八百八十八年以來毎年四十五万乃至五十万「ペソス」ノ獎勵金ヲ支出シタルヲ以テ生畜ノ輸出ニ非常ナル影響ヲ與ヘ外國ヘ向ケ輸出スルモノ益々其數ヲ増加スルニ至レリ即チ千八百九十四年ニハ生牛二十二万〇四百九十頭此價格九百〇八万三百二十「ペソス」ヲ輸出セシモノ同九十五年ニハ約四十五万頭此價格約九百九十万「ペソス」ニ増加セリ而千八百九十四年ニ於ケル生羊ノ輸出額約二十二万頭ナリシモノ同九十五年ニハ四十二万九千四百六頭ニ増加セルヲ見ル

牛羊及ビ豕ノ凍肉

初メ凍肉製造法ノ未ダ發明セラレサルノ時及ヒ廣ク今日ノ如ク應川セラレサルノ時ニ際シテハ亞然丁產生肉ノ輸出ハ今日ノ如ク盛ナラズ而其輸出モ多クハ近傍ノ海岸諸國ニノミ限ラレ歐米各國ヘ向フモノ極メテ少ナカリシガ凍肉法ノ千八百八十年始メテ濠洲ニ於テ試ミラル、ヤ機ヲ見ルニ敏ナル亞然丁國民ハ三年ヲ出デズシテ直チニ之ヲ應用シ獨佛ヨリ技師ヲ聘シテ盛ニ之ヲ製造輸出

スルニ至レリ凍肉ノ外ニ尙ホ乾肉、鹹肉、罐詰肉、肉精、肉エキス、等ノ製造ニ從事スル者亦極メテ多キモ現今亞然丁國ニ於テ最モ多額ナル資本ヲ有シ最大最新ナル機械ヲ利用シテ大ニ其製造ニ從事シツ、アルモノハ實ニ凍肉ヲ以テ第一トス是等凍肉ハ歐米各國ニ輸送スル爲メニ特別ナル裝置アル凍肉船ヲ用ヒ殊ニ南阿戰爭ニ際シ英國軍隊用トシテ輸出セルモノ極メテ多ク其聲價極メテ熾ナリ

今千八百九十五年ニ於ケル亞然丁牛羊凍肉ノ輸出高ヲ見ルニ合計四万一千八百八十二噸ニシテ千八百八十五年以來九十七年ニ至ル十三ケ年間ノ輸出噸數ハ總計三十万八千七百六十三噸ニシテ其各年別輸出數ヲ示セバ左ノ如シ

一八八五年	二、六二七噸
一八八六年	七、三五一〃
一八八七年	一一、〇三九〃
一八八八年	一八、二四七〃
一八八九年	一六、五三二〃
一八九〇年	二〇、四一四〃
一八九一年	二三、二七八〃
一八九二年	二五、四三六〃
一八九三年	二五、〇四一〃
一八九四年	三六、四八六〃
一八九五年	四一、八八二〃
一八九六年	四一、七八〇〃



南米亞然丁國々勢一斑

三十六

一八九七年

三七、六五〇〃

前表中牛及ヒ羊ニ就キテ區分スレバ左ノ左シ

年次	羊凍肉輸出高	牛凍肉輸出高
一八八五年	二、六二七噸	
一八八六年	七、三五一〃	
一八八七年	一二、〇三九〃	
一八八八年	一八、二四七〃	
一八八九年	一六、五三二〃	
一八九〇年	二〇、四一四〃	
一八九一年	二三、二七八〃	二八四噸
一八九二年	二五、一五二〃	二、七七八〃
一八九三年	二二、二六三〃	二、二六七〃
一八九四年	三四、二一九〃	一、五八九〃
一八九五年	四〇、二九五〃	三、二一五〃
一八九六年	三八、五六五〃	二、九九一〃
一八九七年	三四、六五九〃	

今前表ニヨリテ牛羊凍肉輸出ノ發達ヲ檢スルニ羊凍肉ノ輸出高ハ千八百八十五年ニ於テハ僅々二千六百二十七噸ナリシモノ十ヶ年ノ後即チ千八百九十五年ニハ四万二千九百九十五噸ニ増加シ其増加比率ハ約十五倍餘ヲ示セリ牛凍肉ノ輸出ハ千八百九十一年前ニハ肥スル程ノ事ナク九十二年ニ至リテ始メテ漸ク二百八十四噸ノ輸出アリシモノ千八百九十六年ニハ三千二百十五噸ニ増加セリ即

チ牛凍肉輸出ノ發達ハ五ヶ年前ニ比シ十倍餘ニ當ルヲ見ル

是等牛羊凍肉製造所ノ數ハブエノス、アイレス市ノミニテモ五大會社アリバヒヤ、フランカ市ニモ亦一大會社アリ

是等凍肉會社ニ專屬セル屠牛場ヲ除キブエノス、アイレス州内ニハ尙他ニ二十一個所ノ屠牛場アリテ茲ニ毎年屠殺スル牛數ハ六十四万頭乃至八十五万頭ノ多キニ及ビ屠牛場ニ使役スル人夫ノ數ハ一千五百三十人ヲ算セリ

凍肉會社ノ資本及裝置ハ極メテ大ナルモノニシテ其利益モ亦極メテ大ナリト云フ今ブエノス、アイレス市ニ於ケル五大凍肉會社ノ資本金ヲ算スルニ合計約八百萬「ペンス」ヲ有シ八十臺ノ蒸氣機關ヲ備ヘ約千六百人ノ職工ヲ使役シテ毎年二割ノ純益ヲ得ルト云フ

以上各種ノ目的ニ供スル爲メニ屠殺セル牛數ヲ調査スルニ英國ニ於ケル一統計雜誌ハ其數ヲ計算シテ大略左ノ如クナルベシト云ヘリ

千八百九十六年	四一三、五〇〇頭
千八百九十七年	四八一、〇〇〇〃
千八百九十八年	三四〇、一〇〇〃
千八百九十九年	三一五、四〇〇〃
千九百年	三二九、四〇〇〃

然ルニ亞然丁ノ家畜調査委員ハ右ノ數ヲ以テ遺漏アルモノト爲シ毎年ニ於ケル屠殺數ハ少ナク且三割乃至五割以上ヲ増加シタルモノヲ以テ正確ナルモノトナセリ

羊皮及ヒ牛皮

千八百九十五年中亞然丁國ヨリ歐洲へ輸出セル羊皮數ヲ見ルニ其數

三十七



三万三千六百六十四噸

ニシテ同年ニ於ケル牛皮輸出數ハ約  
七万四千一百噸

ナリキ而是等牛皮牛革及ヒ鹽漬皮ノ價ハ大小品位ニヨリテ非常ノ相違アリ上等牛皮ハ十基ニ付最  
高八弗最低五弗下等品ハ最高五弗半最低三四弗トス鹽漬皮ハ百基ヲ以テ價ヲ定メ大抵二十九弗乃  
至三十九弗ノ取引相場ヲ有ス

羊皮ニ至リテハ牛皮ニ比シ其價格ノ相違益々甚シク其毛質種類大小品位等ニヨリテ其價格ヲ異ニ  
スルノミナラス胎羊ノ毛皮ノ如キハ極メテ貴ク又頸部ハ一般ニ高價ナルヲ以テ一枚ノ羊皮ニテモ  
其價ニ甚シキ相違アルヲ以テ價格表ト共ニ見本ヲ供フルニ非レバ到底其價格ヲ明記スル能ハス故  
ニ茲ニハ最近五ヶ年間ノ羊皮輸出額ヲ示スニ止メ

年次

羊皮輸出噸數

一八九五年  
一八九六年  
一八九七年  
一八九八年  
一八九九年

三三、六六四噸  
三六、四七三〃  
三七、〇七四〃  
四二、二五四〃  
四一、六九七〃

○牧畜及ヒ其產品ニ次テ盛ナルモノヲ農産物トナス而農産物中最モ盛ナルヲ小麥ノ耕作トシ之レニ  
次クヲ玉蜀黍トシ麻、甘蔗及ヒ豆類又之ニ次ク其他馬令鬃、甘蔗、牧草、野菜及ヒ米麥ノ類亦隨所  
ニ之ヲ産シ葡萄ハ西部地方ニ盛ニ培養セラル是等耕地ノ總面積ハ千五百万「エーカー」ニシテ同  
國總面積ノ百分ノ六ニ當ル

小麥及ヒ其耕地

英國ノ一雜誌ノ記スルトコヲ見ルニ亞然丁國小麥耕地ノ面積ハ合計五百四十七万六千「エーカー」  
トアリ然ルニ千八百九十五年亞然丁農會ノ調査セルトコロヲ見ルニ小麥産地トシテ有名ナル  
地域ノ廣サハ

オーストラリア	四五〇、〇〇〇「ヘクタール」
サシタ、フエ州	二、〇〇〇、〇〇〇〃
エストロ、リオ州	二九〇、〇〇〇〃
コルドーバ州	二五〇、〇〇〇〃
合計	一、九九〇、〇〇〇〃

トアリ遺ハ只有有名ナル地域ノ廣サノミナルヲ以テ實際ニ於テハ尙幾多ノ小耕地アルヲ以テ其總地  
積ヲ加算スルトキハ極メテ巨大ナルモノタルヤ疑ヲ容レズ而是等耕地積ハ爾來年々其境域ヲ擴メ  
タリシガ千八百九十七年ノ非常ナル凶歲ノ後ヲ受ケテ千八百九十八年ニハ小麥ノ耕作ニ従事スル  
者大ニ減少シ隨ツテ耕地積ト其収獲トヲ減少セリ今年ニ於ケル全國小麥耕地積ヲ調査スルニ

小麥耕地積 二、四九四、五〇〇「ヘクタール」  
小麥産額 二、三九六、八〇〇噸

ナリ即チ九十五年ニ比シ地積ニ於テ四十九万五千五百「ヘクタール」ヲ減シ収獲ニ於テ四十八万  
噸ヲ減少セリ然レハ爾來漸次其耕作方法ヲ改良シ土地ノ開墾ト小麥ノ耕作トハ年々逐フテ發達進  
歩ヲ來タシ現今ニ於テハ約四百万「ヘクタール」ノ耕地ト四百五十餘万噸ノ産額トヲ有スルニ至  
レリ

○小麥ノ相場

南米亞然丁國々勢一斑



○小麥ノ相場ハ其種類品位及ビ年次ニヨリテ相違アリ千八百九十七年ニハ每百基ノ平均相場約十八「フラン」ナリシモ千八百九十八年ニハ十六「フラン」五十「サンチム」ニ下落セリ而千八百九十九年ニ於テハ相場益々低下シテ上等品六「ペソ」六十仙乃至七「ペソ」中等品五「ペソ」七士仙乃至六「ペソ」四十仙下等品五「ペソ」乃至五「ペソ」九十仙ノ取引價格ヲ有セリ

- 今千八百九十四年及ヒ九十七年以下三ヶ年間ニ外國へ輸出セル小麥粒額ヲ左ニ示ス
- 一八九四年 一、八五六、〇〇〇噸 一四八、四八〇、〇〇〇「ペソ」
  - 一八九七年 二〇〇、〇〇〇噸 一四、六五六、七〇〇
  - 一八九八年 八五〇、〇〇〇噸 五七、一〇〇、〇〇〇
  - 一八九九年 一、七二三、四二九噸 三八、〇七八、三四三

○小麥粉製造所

亞然丁ニ於クル穀粉製造所數ハ千八百九十年ニ於テ已ニ六百五十九軒ヲ有シ皆水力瀧力ヲ應用シ牛馬ノ力ヲ應用スルモノハ僻地ノ小製造所ニ限レリ今其ノ著名ナルモノヲ擧グレバ

- 瀧力ヲ應用スルモノ 二百三十四個所
- 瀧力水力兼用ノモノ 十七個所
- 水力ノミニ依ルモノ 三百三個所
- 牛馬ノ力ニ依ルモノ 一百五個所

合計 六百五十九個所

以上ハ皆合同資本ニ成レル大製造所ナルモ此外單獨ニ穀粉ノ製造ニ從事スルモノ大凡四千四百軒アリ此等資本ノ總額ハ三千六百三十六万三千五百二十二弗ナリト云フ

○小麥粉輸出額

亞然丁(及ヒウルクグエー)ヨリ千八百九十八年中ニ伯國へ輸出セル小麥粉ノ總額ハ四四、二六八「バレル」ニシテ亞然丁ノミヨリセルモノ約三万五千「バレル」ニ上レリ而千八百九十九年上半期間ニ亞然丁ヨリ伯國ニ輸出セル小麥粒ハ四、一八四噸ニシテ小麥粉二一、一三三噸ナリ始メ伯刺西爾ニハ麵粉製造所ノ設無カリシヲ以テ小麥粒ヲ輸入スルコトナク小麥粉ハ皆北米合衆國及ヒ亞然丁國ヨリ輸入セシモ過ル數年來伯國ニ麵粉製造所ノ設立アリシヨリ以來年々亞然丁産小麥粒ノ輸入ヲ見ルニ至レリ

小麥粉ノ輸出額ハ小麥粒ノ輸出額ト關係シ而又農作物ノ豐凶ニヨリ相違アルコト争フベカラサル事實ナリトス即チ千八百九十五年ノ輸出額五三、九三五噸九十六年ノ輸出額五一、七三二噸ナリシモノ九十七年ノ非常ナル凶年ノ爲メニ七、八ノ兩年間ハ大ニ其輸出額ヲ減少セシモ千八百九十九年ニ至リ再ビ其衰勢ヲ挽回シ産額ニ比シ輸出額大ニ増加シ輸出額五万九千四百六十四噸此價百九十三万八千二百八十一「ペソ」ニシテ漸次北米合衆國ト競争スルニ至レリ

玉蜀黍耕地

玉蜀黍ハ小麥ニ次ケル産品ナルカ故ニ其地積モ亦之ニ次ケリ即チ千八百九十五年ニ於ケル玉蜀黍耕地地積ハ合計七十一万八千六百三十二「ヘクタール」ニシテ毎「ヘクタール」ノ收穫ハ

ブエノス、アイレス州北部	三四	「ヘクトリットル」
同 州中部	二七	〃
同 州南部	二五	〃
同 同	二五	〃
パタゴニア州	三〇	〃
ニシテ平均收穫三十「ヘクト、リットル」ナルヲ以テ同年度ノ收穫ハ合計約二千五百五十六万「ヘクト、リットル」ヲ算セリ		



又十基瓦ノ種子ヲ播キテ其收穫ヲ見ルニ最高九十七基中等九十二基下等六十六基ノ收穫アリ而  
 フエノタ、アインナ州北中南部ノ平均收穫ハ一基瓦ノ種子ニ就キ約八十八基ヲ得タリ  
 現今ニ於ケル耕地ノ面積ハ八十五万「ヘクタール」ニ上リ毎「ヘクタール」ノ平均收穫モ亦多少  
 増加セラレタルヲ以テ假リ三十一「ヘクト、リットル」トシテ算スルトキハ最近年次ノ收穫ハ一  
 年三千六百三十五万「ヘクタール、リットル」ニ上ルベキナリ

○玉蜀黍ノ輸出額

産地ノ有名ナルモノハフエンス、アイレス州ニシテラ、プラタ之レニ次シ種類ハ數種アルモ一般  
 ニ色ニヨリテ直チニ其質ヲ査定スルヲ得ベシ即チ種子ノ色半透明ナルモノハ其粉末雪白ニシテ品  
 質精良價亦貴シ種子黄色褐色若クニ紫色ナルモノニ至リテ粉末ノ色純ナラズ價モ亦比較的廉ナリ  
 トス今千八百九十五年以後五ヶ年間ノ輸出額ヲ見ルニ  
 一八九五年 七、七三三、三三八噸  
 一八九六年 一、四二九、七八〇  
 一八九七年 三、七四、九二四  
 一八九八年 七、一七、一〇五  
 一八九九年 一、二一六、二七六  
 ニシテ九十五年ノ輸出價格ハ約九百五十万「ペソス」九十六年ハ一千五百万「ペソス」九十七年  
 ハ約四百万「ペソス」九十八年ハ約八百五十万「ペソス」ニシテ九十九年ニハ千三百〇四万二千  
 九百八十三「ペソス」ナリキ今年同様に於ケル各種玉蜀黍每百基當リ輸出平均相場ヲ調査スルニ  
 白上等品 三「ペソス」七十仙乃至四「ペソス」四十仙  
 黄上等品 三「ペソス」四十仙乃至四「ペソス」四十仙

大麥  
 大麥ノ産地モ亦小麥ノ産地ニ同シクサンタ、フエー及ビフエノス、アイレス地方最モ著名ナリ價  
 格ハ小麥ニ比シ一般ニ廉價ニシテ普通ニ小麥價格ノ十分ノ六位ニ當ル今千八百九十七年中ノ取引  
 相場ヲ聞クニ每百基「ペソス」乃至五「ペソス」ニシテ平均四「ペソス」ナルヲ以テ同年ノ輸出  
 額七十五万噸ニヨリテ算スルトキハ輸出價格約三千万「ペソス」ナリトス  
 大麥輸出額ニ就キ亞然丁一統計雜誌ノ記スルトヨロテ見ルニ千八百九十四年以來漸次其輸出額ヲ  
 減少シ加フルニ九十七年ノ大凶作ノ後ヲ受ケテ九十八年九十九年ノ如キ其産額及輸出額共ニ大ニ  
 衰退セリト云フ而大麥産額及輸出額ノ減少ハ其價格ノ小麥ニ及バサル亦其一原因タラスンバアラ  
 ス  
 今千八百九十四年以後四ヶ年間ノ輸出額ヲ示セハ左ノ如シ  
 千八百九十四年 一、六〇八、二四九噸  
 千八百九十五年 一、一〇一、二六九  
 千八百九十六年 五八三、〇〇〇  
 千八百九十七年 七五〇、〇〇〇

麻及亞麻種  
 麻及亞麻ノ産地ハサンタフエ、フエノス、アイレス、コルドバ及ビエントロ、リオ等ニシテ耕地



面積産額及ヒ輸出額等千八百九十七年ノ調査ニ依レバ左ノ如シ然ルニ同年調英國ノ統雜誌ニハ少シク遺漏アリ産額比較の少量ナルモ輸出額ハ大差ナシ

耕 地 面 積	亞然丁調査ニ依レバ	英國ノ調査ニ從ヘバ
耕 地 積	二五〇、〇六八「エクタール」	六四六、〇〇〇「エーカー」
產 額	一八三、〇〇〇、〇〇〇基	一七〇、四四五噸
輸 出 額	九〇、〇〇〇、〇〇〇基	同

亞麻種ノ價格ハ每十基ニ付普通八十仙乃至一「ペソ」三十仙ナルヲ以テ平均一「ペソ」餘ニ當ル即チ同年中ノ輸出價格ハ約九百万「ペソ」ナリ

落花生

耕地積

一三、〇〇〇「エクタール」

收穫高

二四、〇〇〇、〇〇〇基

輸出額

一八〇、〇〇〇基

取引相場每一基約十仙

砂糖黍耕作及製糖業

砂糖黍ノ耕作ハ西部及ヒ北部ノ暖地ニ多シ就中其最モ有名ナルチツクマン地方トナスツクマン地方ニハ二十八ヶ所ノ製糖所アリテ全國總産額ノ九分ノ八ヲ産ス

亞然丁國ニ於ケル砂糖製造所ノ數ハ合計四十九軒ニシテ甘黍ノ耕作ニ從事スル會社及ヒ耕主ハ通シテ二千七百四十九軒アリ而是等ノ製糖家ニヨリテ製出セラレタル數量ヲ見ルニ

千八百九十八年

七二、〇〇〇噸

千八百九十九年

九〇、〇〇〇噸

以上各種農産物中各種ノ麥類及麻種耕地及其收穫高ヲ調査スルニサンタフェ、ブエノスアイレス、コルドバ及ヒエントロロリオノ四州ハ其主産地ニシテ又最モ開化セル地方ナルヲ以テ詳細ナル統計ヲ知ルヲ得ルモ其他ノ州郡ニ至リテハ史乘ノ徵スヘキモノナシ今右四州ニ就キテ之ヲ見ルニ其總地積及收穫高ハ左ノ如シ(一八九八年)

小 麥	耕地積 (エクタール)	收穫高 (キロ)
燕 麥	二、四九四、五〇〇	二、三一六、八〇七、一六六
大 麥	一一、四六三	一五、七八九、七七一
裸 麥	一〇、三三四	一一、〇二六、五七九
麻 種	一、〇八八	一、一一三、〇七七
	二五〇、〇六八	一八三、〇七六、一二四

然ルニ前表ハ一八九七年ノ凶歲ノ後ヲ受ク耕地及收穫ノ減少セルニ乘シ一八九八年政府ガ取調上一時之ヲ調査セルモノナルヲ以テ比較の極メテ少數ヲ示セルモ現今ニ於テハ實際ニ於テ遙カニ此ノ計算ニ超過シ小麥耕地ノミニテモ約四百万「エクタール」ト四百五十餘万噸ノ收穫アルヲハ已ニ前ニ述ベタルガ如シ故ニ燕麥及其他穀物ノ耕地積及收穫モ亦隨ツテ増加セルモノトシテ其幾割ヲ加ヘサルベカラズ

○亞然丁ノ農業ハ極メテ盛ナルモ勞力ハ皆外國ノ移民ニ保チ其供給、需要ニ充タサルヲ以テ勞銀極メテ不廉ナリ故ニ收穫時ニ至レバ市街ノ各所ニ散在セル勞働者ハ皆一時已レノ業務ヲ捨テ、耕地ニ鎌ヲ執ルモノ多シ此時期ニ於ケル農夫ノ給料ハ一ヶ月百弗ヨリ百五十弗ニ及フヲ以テ勞働者ノ爲メ



ニハ無二ノ好機ト云フベキナリ

工業

葡萄ノ栽培及葡萄酒ノ醸造

葡萄ノ栽培ニ適スルノ地ハ智利國ニ近キ西方ノ山地タルメンドサ及ヒサンフアンノ二州ニ限ル但シ近時南部地方ニ其栽培ヲ試ミタルモノアルモ未ダ其好果ヲ得サルモノ、如シ現今西部地方葡萄園中ヨリク地方ノ葡萄園ノミニテモ其地積三万六千ヘクタールノ廣サヲ有シ全國ヲ通シテ八万九千ヘクタールノ葡萄園アリ而是等葡萄園ノ耕主ハ合計六千五百十四軒ナリ是等各地方ニ於ケル葡萄酒ハ加里福尼亞産ニ優ルヲ數等ニシテ價モ亦極メテ廉ナルヲ以テ初メ佛國及西、葡、伊ノ諸國ヨリ輸入セル、テ「ブルグイソ」ハ近年著シク其輸入ヲ減少セルノミナラズ却ツテ南米ノ各國及歐洲ノ或ル地方ヘ向ケ輸出スルノ額逐年多キヲ加フルニ至レリサンフアン及「メンドサ」地方ニ於ケル葡萄酒醸造資本ハ合計二千九百八十二万五千四百七十七弗醸造稅約三百二十万弗ニシテ毎年ノ産額

一八九八年ニハ

八九、〇〇〇、〇〇〇リトル

一八九九年ニハ

一〇二、四〇〇、〇〇〇リトル(但メンドサ一州ノミ)

故ニ同年ニ於ケル醸造總額ハ非常ニ巨額ニ上ルナラン

目下メンドサ及ヒサンフアン二州ニ於テ毎年千五百万リトル以上ノ葡萄酒ヲ有スル醸造所ヲ數ヘタルニ合計千六百六十六軒ヲ得タリ即チ同年ニ於ケル右大醸造家ノ所有酒量ノミニテ已ニ約二百五十億リットルノ巨額ニ上レルヲ見ル其他ノ小醸造家ノ醸造額及貯藏額ニ至リテハ實ニ枚舉ニ暇ヲ取ズト云フベシ如斯酒類ノ産額巨多ナルカ故ニ隨ツテ其價モ亦極メテ廉ニシテ二百リットル入中等赤酒一樽ノ價

ハ五十一ペソ乃至六十一ペソニ過ギズ而下等品ニ至リテハ三十四ペソニテ得ラルベシト云フ

其他麥酒ノ醸造所ハ全國各地ニ散在シテ其數極メテ多ク大會社ノミニシテ四十四軒其醸造稅百万弗

ノコロール製造所ハ首府ノミニテ百八十四軒アリ酒精ノ製造所酒精製酒稅約一千五百万弗モ其數

極メテ多シ火酒製造所(首府十一軒)全國ヲ通シテ百八軒家具製造所(首府百廿二軒)諸東製造所

(首府六十九軒)機械鐵工場(首府八十五軒)柔皮所(首府二十五軒)靴製造所(首府十九軒)藥器

製造所(首府十三軒)煙草製造所(首府廿三軒)織物所(首府廿一軒)人造金及人造寶石製造所(首

府廿三軒)アルベルカタ製造所(首府廿三軒)チョコレート製造所(首府七軒)外科器械製造所(首

府八軒)製鐵所(首府五十九軒)仕上ク器械所(首府三十四軒)十六羅紗製造所(内三軒首府ニ在

リ)及ヒ帽子製造所首府ノミニテ四十七軒全國ヲ通シテ百餘ヶ所アリ

ベ「サイレス」市ニ於ケル羅紗製製造會社ハ三大會社アリ就中最モ整頓セルヲ伊獨協同帽子、羅紗製

造會社トス同社ハ資金三百万「ペソ」ヲ有シ帽子職工四百人羅紗職工五百人ヲ使役シ毎日ノ帽子

製造高五千乃至六千個羅紗ノ絨出高約一千米矣ニシテ賃金ハ小兒及女子十時間ノ勞働ニテ日給一

「ペソ」半乃至一「ペソ」半大人三「ペソ」以上ニシテ機械係ハ四「ペソ」乃至五「ペソ」ヲ

受ケルテ例トス

亞然丁製絨所ノ總數ハ十六ヶ所ニシテ資本金凡一千万「ペソ」職工六千二百人ヲ使役セリ而是等

職工ノ十分ノ八皆女子ニシテ男子ノ數ハ極メテ少ナシ之レ男子ハ多ク監督及機械運轉ノ任ニ當ルカ

故ナリ

全國百餘ヶ所ノ帽子製造所ニ於ケル資金約一千万「ペソ」ヲ有シ職工六千七百人ヲ使役ス

乾餅ノ製造所ハサンタフェ、コルドバ、エントロロリオ及ヒ「マエ」ノス「アイレス」州ノ各地ニ散在シ其數



南米亞然丁國々勢一斑

極メテ多キモ就中首府ヲ以テ最トス首府ニ於ケル同製造所數ハ大ナルモノ約十餘軒ニシテ其毎日ノ製造高ハ約五千基ニ及ブ職工ハ十四五才ノ小兒最モ多ク婦人及大人亦之ニ從事ス小兒ハ月給十五六「ペンス」婦人ハ二三「ペンス」ニシテ技術アル大人ハ四十乃至百二十「ペンス」ノ給料ヲ受ク以上各種製造所中首府ノミニテ既ニ千六百六十五軒ヲ算セリ同國ノ工業ハ首府ニ限レルト謂フモ過言ニアラズ其他ノ各地ニハ各種特別ナル會社ノ一二アルヲ見ルノミニ同國營業稅ノ歲入約二百萬弗中ノ百分ノ八十八ハ皆是等製造場ノ納稅ニ依ルモノナリ

左ニ各種調査ニ必要ナル表數枚ヲ掲ケテ以テ讀者ノ參考ニ資ス

一八八五年調亞然丁土地廣袤及價格  
(リヴァー、プレイト、バンド、ブツク)

牧畜地	耕作地		計	一方哩(六〇エーカー)ノ價	
	一	二		一	二
ブエノスアイレス	五三、八〇〇、〇〇〇	二、三〇〇、〇〇〇	五六、一〇〇、〇〇〇	六〇	三、〇〇〇
サンタフェ	二〇、一〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	二二、六〇〇、〇〇〇	三〇	一、一〇〇
コルドバ	四四、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	四五、〇〇〇、〇〇〇	一五	一、〇〇〇
サンルイス	三三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三四、〇〇〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇
メンドンザ	三三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三四、〇〇〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇
サン、ユアン	二八、八〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二九、八〇〇、〇〇〇	八〇	一、〇〇〇
サクル	三〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三一、〇〇〇、〇〇〇	五〇	一、〇〇〇
ワユ	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一一、〇〇〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇
ユタ	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一一、〇〇〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇
計	二二、四〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	二八、四〇〇、〇〇〇	一三〇	一、八〇〇

牧畜地	耕作地		計	一方哩(六〇エーカー)ノ價	
	一	二		一	二
リオヤ	二二、四〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二三、四〇〇、〇〇〇	五〇	一、〇〇〇
カタマカ	四九、七〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇、七〇〇、〇〇〇	五〇	一、〇〇〇
サンチエゴ	三三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三四、〇〇〇、〇〇〇	五〇	一、〇〇〇
エントレオス	三三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三四、〇〇〇、〇〇〇	五〇	一、〇〇〇
コリエテス	二五、六〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二六、六〇〇、〇〇〇	三〇	一、〇〇〇
グリンヤ	一〇、二〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一一、二〇〇、〇〇〇	三〇	一、〇〇〇
ミッシェス	六、八〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	七、八〇〇、〇〇〇	三〇	一、〇〇〇
バムバ	九六、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	九七、〇〇〇、〇〇〇	三〇	一、〇〇〇
バタゴニア	一九、二〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二〇、二〇〇、〇〇〇	三〇	一、〇〇〇
計	二二、四〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	二八、四〇〇、〇〇〇	一三〇	一、八〇〇

一八八五年ノ調査ニヨルニ一方哩ニ羊二千頭牛一百頭ヲ有スル割ナリ  
一八四〇年及一八八七年中農藝品産額比較

資本	一八四〇年	二千二百萬磅
全	一八八七年	一億七千七百萬磅
産額	一八四〇年	五百萬磅
全	一八八七年	四千二百萬磅
労働者數	一八四〇年	二十萬人
全	一八八七年	六十萬人
一人當産額	一八四〇年	二十五磅
全	一八八七年	七十磅

南米亞然丁國々勢一斑



南米亞然丁國々勢一班

一八八八年中調査農業資本額

土地價 (磅)	家畜價 (磅)	其他 (磅)	計 (磅)	當 (磅)
六〇,〇〇〇,〇〇〇	二五,七〇〇,〇〇〇	九五,〇〇〇,〇〇〇	一九〇,七〇〇,〇〇〇	八七
九,〇〇〇,〇〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇	一五,〇〇〇,〇〇〇	二八,〇〇〇,〇〇〇	六七
七,〇〇〇,〇〇〇	七,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	二四,〇〇〇,〇〇〇	九二
五,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	一七,〇〇〇,〇〇〇	三三
五,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	一六,〇〇〇,〇〇〇	四七
三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	一四,〇〇〇,〇〇〇	六〇
三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	一四,〇〇〇,〇〇〇	二〇
二,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一八
二,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	三〇
一,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	一二,〇〇〇,〇〇〇	三九
一,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	一二,〇〇〇,〇〇〇	一七
一,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	一二,〇〇〇,〇〇〇	二六
一,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	一二,〇〇〇,〇〇〇	一五
一,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	一二,〇〇〇,〇〇〇	四五
一,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	一二,〇〇〇,〇〇〇	六〇
一,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	一二,〇〇〇,〇〇〇	六〇
計	計	計	計	計

一八五七年ニハ耕地價格二千二百万磅家畜價格千八百万磅其他ノ各有價物四百万磅ニ過キサリシ

(合計四千四百万磅) モノ八十八年ニハ前表ノ如ク發達進歩セルヲ見ルベシ  
亞然丁國耕地面積(政府調査報告)

年次	耕地積 (エーカー)	住民ニ對スル耕地 (エーカー)
一八八八	三,七五〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇
一八八七	五,〇六〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇
一八八六	八,二五〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇
一八八五	四,二六〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
一八八四	七,四三〇,〇〇〇	二,二二〇,〇〇〇

而小麦耕地積ハ一八七四年ニハ二七、〇〇〇「エーカー」八十四年ニハ一、七二七、〇〇〇「エーカー」八十九年ニハ二、八二〇、〇〇〇「エーカー」ナリキ  
亞然丁各州耕地積 (一八八九年未發行亞國政府報告)

州名	小麦	玉蜀黍	家畜飼料	砂糖及 麻	計
ソノノス、アイレス	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	三,一〇〇,〇〇〇
サンタ、フエー	一,〇〇〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	一,七〇〇,〇〇〇
セントレ、リオス	三,七〇〇,〇〇〇	二一〇,〇〇〇	一八,〇〇〇	一〇,〇〇〇	六,八八〇,〇〇〇
コル、ドバ	一,四〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	一五五,〇〇〇	五五,〇〇〇	五,九〇〇,〇〇〇
メンドン、テス	一,四〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	一五五,〇〇〇	五五,〇〇〇	五,九〇〇,〇〇〇
ツク、マザ	一,四〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	一五五,〇〇〇	五五,〇〇〇	五,九〇〇,〇〇〇
サン、ジュアン	一,四〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	一五五,〇〇〇	五五,〇〇〇	五,九〇〇,〇〇〇
カタ、マルカ	二,〇〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	二八〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇
サン、ルイス	一,八〇〇,〇〇〇	八〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	二八〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇
サン、チエーゴ	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	二,七〇〇,〇〇〇
リオ、オヤ	一,〇〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	一,四三〇,〇〇〇
ジュ、ジュイ	六〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	一,一三〇,〇〇〇
其他諸洲	二,〇〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	一七〇,〇〇〇	一七〇,〇〇〇	二,七四〇,〇〇〇
計	計	計	計	計	計

南米亞然丁國々勢一班



南米亞然丁國々勢一班

サ ン、 マ ユ ア ン	三〇、〇〇〇	八、〇〇〇	一四〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
コ リ エ ン テ ス	六五、〇〇〇	四、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	四六、〇〇〇	一五、〇〇〇
カ タ マ ル カ	三〇、〇〇〇	八、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	七九、〇〇〇	一五、〇〇〇
其 他 諸 州	六〇、〇〇〇	八、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	三九五、〇〇〇
計	三八二、〇〇〇	二七、四〇〇	一、〇〇一、〇〇〇	八九、一〇〇	七、四二七、〇〇〇

五十二

農産物收穫高(一八八九年調)

農産物	小		大	
	噸	數	噸	數
ア エ ノ ス、 ア イ レ ス	二八〇、〇〇〇	五、一〇〇	—	—
サ ン タ、 フ エ ー	二五〇、〇〇〇	四、五〇〇	—	—
エ ン ト レ、 リ オ ス	九〇、〇〇〇	六、〇〇〇	—	—
コ ル ド ー バ	三五、〇〇〇	六、〇〇〇	—	—
其 他 諸 州	七五、〇〇〇	一三、五〇〇	—	—
計	七二五、〇〇〇	二一、一〇〇	—	—

各州八十九年收穫高

燕	玉	小	蜀	麥	黍	麥
全	全	全	全	全	全	全
噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸
數	數	數	數	數	數	數
量	量	量	量	量	量	量
價	價	價	價	價	價	價
格(磅)	格(磅)	格(磅)	格(磅)	格(磅)	格(磅)	格(磅)
耕	耕	耕	耕	耕	耕	耕
地積(エーカー)	地積(エーカー)	地積(エーカー)	地積(エーカー)	地積(エーカー)	地積(エーカー)	地積(エーカー)
三〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇

大 牧 麥	全	二、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
種 草	全	三、五〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
煙 草	全	三、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
砂 糖	全	一、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
葡 萄	全	六、五〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
其 他 計	全	一、七〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇

農産物	價格	牧畜産品	價格	計(磅)	每人當
ア エ ノ ス、 ア イ レ ス	六八〇、〇〇〇	一一、四〇〇、〇〇〇	一九、二〇〇、〇〇〇	一七四、〇〇〇	一七四
サ ン タ、 フ エ ー	二八〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	四、九〇〇、〇〇〇	四九、〇〇〇	二二
エ ン ト レ、 リ オ ス	一、〇〇〇、〇〇〇	三、五〇〇、〇〇〇	四、七〇〇、〇〇〇	二六、〇〇〇	二六
コ ル ド ー バ	一、〇〇〇、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五
メ ン ド ー ザ	九〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇	八五、〇〇〇	八五
ツ ク マ ー	一、五〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇	一四〇、〇〇〇	一四〇
サ ン シ ユ ア ン	六〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇	九七、〇〇〇	九七
サ マ ル カ	六〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇	八八、〇〇〇	八八
カ タ マ ル カ	二〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	五〇
計	六、八〇〇、〇〇〇	二二、四〇〇、〇〇〇	二四、〇〇〇、〇〇〇	五十三	五十三

南米亞然丁國々勢一班

五十三



南米亞然丁國々勢一斑

五十四

サ	1100,000	600,000	600,000	80
ン	1100,000	500,000	700,000	7
ル	1100,000	100,000	500,000	6
イ	1100,000	100,000	500,000	8
ス	1100,000	1,150,000	1,400,000	10
計	1,700,000	2,200,000	2,200,000	100

貨幣制度ハ初メ金銀兩本位制ニシテ「ペン」ヲ單位トシ其百分一ヲ「センチタヴオ」ト云フ

而レトモ現今ニ至リテハ金貨本位制ニ改メタリ流通貨幣ハ紙幣ニシテ金紙ノ比ハ一〇〇ト四四乃至四五ノ割合ナリ

金貨價格

重量

純金量

純金含有比率

五「ペン」ス、フェルテス」

八瓦〇六四五

七瓦二五八〇五

千分ノ九百

銀貨

一「ペン」フェルテ」

二五瓦〇〇〇〇

二二瓦五〇〇〇

千分ノ九百(純銀)

五十「センチタヴオ」

二十「センチタヴオ」

十「センチタヴオ」

白銅貨及銅貨ハ補助貨トシテ發行流通セラル

度量衡制度

千八百八十七年一月一日佛國ノ米突法ヲ採用セリ然レモ衡器ニ於テハ尙「キンタル」「アロバ」等ヲ用ヒ量器ニ於テ「フアナガ」ヲ用フ

「アロバ」 二十五磅三五

「キンタル」 百一磅四〇

「フアナガ」 一英「フアツシエル」半

亞然丁國ノ財政

「アロバ」ノ四倍

「フアナガ」ノ四倍

「キンタル」ノ四倍

南米三在リテ財政ノ鞏固ナルハ智利及「ウルグエー」ノ二國トス亞然丁國ハ外資ノ輸入、移民ノ誘導、鐵道電信ノ布設等ヲ始メトシテ百般ノ事業皆歐米ノ長ヲ採リ自國ヲシテ一躍シテ文明ナル強

大國タラシメント欲シ急激ナル進歩ヲ企テタル結果國家經濟ノ出入不平均ヲ來タシ新事業ノ勃興ヲ來タシ金貨ノ流出ヲ來タシ外債ノ募集ニ次クニ不換紙幣ノ發行ヲ以テシタル結果大ニ財政ノ困難ヲ來タセルコト伯國ト同一ノ轍ニ出テタリ

代々ノ大統領及財政委員ハ此ノ困難ヲ救済セント欲シタルモ始メハ皆失敗ニ歸シ千八百八十一年

ニハ紙幣ノ濫發已ニ其極ニ達シ在亞國各私立銀行及中央政府發行ノ紙幣(北米合衆國ノ舊例ニ倣

ヒ公債證書ノ準備ニヨリテ發行セルモノ)合セテ

八億八千二百〇七万五千五百六十六弗

ニ達シ當時ノ人口四百万ニ對シ毎頭二百二十弗ノ紙幣ヲ有スルノ割合ヲ呈セリ如斯紙幣ノ發行高

増加シテ硬貨ノ流通ヲ見サルニ至レルヲ以テ金紙ノ差ハ益々甚シク一時ハ金百弗ニ付紙幣二千五

百弗即チ二十五分ノ一ノ割合ヲ呈セルコトサヘアリキ

政府ハ之ヲ救済セント欲シ私立銀行ノ紙幣發行ヲ停止スルト同時ニ金銀兩本位制ヲ定メ金貨壹弗

ヲ純金含有量ヲ一瓦四五二六銀貨壹弗ヲ純銀二十二瓦五〇〇〇ト爲シ金貨壹弗ノ重量ヲ一瓦六一

二九銀貨弗ノ重量ヲ二十五瓦トシ何レモ千分ノ百ノ銅ヲ混スルコトト定メ金銀ノ價格ヲ同價トシテ

何レモ紙幣ト交換スルコトヲ許セリ其交換比率ハ硬一、紙二十五ノ割合ニ定メラレタルヲ以テ只銀

南米亞然丁國々勢一斑

五十五



南米亞然丁國々勢一班

五十六

貨ヲ増セルノミニシテ金紙ノ差ヲ調節スルコト能ハサリシモ爲之ニ爲換相場ノ激變ヲ和ケ爾來漸次市場ノ平穩ヲ來タシ外國貿易上爲換相場ノ變動ヨリ生スル危險ヲ減少セリ  
爾後私立銀行發行ノ紙幣ヲ政府ニ買收シ又不換紙幣ヲ燒却シテ其流通高ヲ減少セル等ノ措置ハ大ニ好結果ヲ收メ近年ニ至リテハ漸次金紙ノ差ヲ接近セシムルニ至レリ而現今流通ノ紙幣額ハ大略左ノ如シ

特許五大銀行發行紙幣高

一一、〇一〇、七九一弗

政府發行紙幣高

二七四、一〇五、一六六弗

合計

二八五、一一五、九五七弗

即チ千八百八十一年ニ比スレバ三分ノ二餘ヲ減少セルヲ見ル而現今ニ至リテハ金紙ノ差ハ金百ニ付キ紙四十四ノ割合ヲ呈スルニ至レリ  
加之政府ハ千八百九十九年十一月四日ノ法律ヲ以テ貨幣條例ヲ改正スルト同時ニ兌換制ヲ取レルヲ以テ大ニ經濟上ノ信用ヲ恢復セリ

亞然丁ノ内外國債ハ合計四六七、七〇〇、〇〇〇弗ニシテ其利率五分乃至六分ノ間ニ在リ而外債ハ英國ヨリ募集セルモノ多ク多クハ公共的事業ニ之ヲ消費セリ

外國債

三四二、五〇〇、〇〇〇「ペソ」

內國紙幣公債

四三、〇〇〇、〇〇〇

內國金貨公債

三二、〇〇〇、〇〇〇

大藏省公債

一六、七〇〇、〇〇〇

外國州債

三三、五〇〇、〇〇〇

合計

四六七、七〇〇、〇〇〇

即チ人口五百万トシテ一人ノ負擔額九十三弗五十五仙ニ當ルヲ見ル  
從來亞然丁國ニ放下セラレタル外國資本ハ合計金貨六億千三百三十二万「ペソ」除ニシテ之事業ニヨリ區分スレバ左ノ如シ

鐵道

金貨 四七五、二二二、〇八五弗

鐵道馬車及電氣鐵道

同 二五、三三五、七〇一

土地開墾事業

同 二四、二三二、九七四

電燈及瓦斯會社

一一、六五六、〇六〇

其他ノ製造及工業

三五、〇〇九、六七五

銀行業

三九、九七〇、〇一七

合計

六一一、三二六、五一二

亞然丁國一八九五年ヨリ一千九百〇一年ニ至ル七ヶ年間ノ歲入出ハ

年	歲入		歲出	
	金	紙幣	金	紙幣
一八九五	二九、八〇五、六五一	二八、九五八、四六〇	二四、一六五、二三九	八三、九三三、三八六
一八九六	三三、〇五二、九五二	三二、四六八、一七四	四六、八九一、三二一	九三、一三三、三四三
一八九七	三〇、四六六、三三三	六、一〇三、五八五	二九、九三一、五五二	九三、四二七、五〇二
一八九八	三三、八七八、二六六	四九、七四四、二二四	二〇、八三〇、八一七	九三、〇七二、七四五
一八九九	四四、六七六、一八九	六、四一九、九九〇	三〇、八六〇、八一七	一〇三、八八七、四四八
一九〇〇	四四、九八一、七三五	六、七一一、三〇〇	三三、九四六、八一三	九五、四四七、五一三
一九〇一	三七、九九一、七八八	六、三三〇、〇〇〇	二六、〇二五、一七六	八九、九四〇、四九九

南米亞然丁國々勢一班

五十七



南米亞然丁國々勢一班

ニシテ一九〇一年ニ於ケル歳出入豫算ヲ詳細ニ區分スレバ如左

歳入	金貨	二八、〇〇〇、〇〇〇
輸入税	同	二、八〇〇、〇〇〇
輸出税	同	一、二〇〇、〇〇〇
倉庫收入	同	二〇〇、〇〇〇
燈臺收入	同	三五、〇〇〇
檢疫手數料	同	一、〇〇〇、〇〇〇
船渠及棧橋收入	同	一三〇、〇〇〇
領事館證明手數料	同	二二〇、〇〇〇
起金機使用料	同	三〇、〇〇〇
關稅及倉庫規則違反罰金	同	一、九三〇、三七九
政府所有公債利子	同	一、五三七、六五〇
フエノスアイレス州債雜收入	同	三四八、二三二
國民銀行納付金	同	六〇、〇〇〇
エントレ、リオ銀行納付金	同	二二〇、四五七
サンタフェー鐵道收入	紙幣	一五、〇〇〇、〇〇〇
酒精税	同	一一、三〇〇、〇〇〇
煙草税	同	三、二〇〇、〇〇〇
葡萄酒釀造税	同	三、五〇〇、〇〇〇
砂糖税	同	

寸燐製造税	同	一、八〇〇、〇〇〇
麥酒釀造税	同	一、〇〇〇、〇〇〇
保險業税	同	三五、〇〇〇
骨牌税	同	一〇〇、〇〇〇
人造礦水税	同	一五〇、〇〇〇
水道及下水税	同	五、三〇〇、〇〇〇
地租	同	一、八〇〇、〇〇〇
各種營業免許手數料	同	二、〇〇〇、〇〇〇
印紙税	同	六、四〇〇、〇〇〇
港内鐵道收入	同	一七〇、〇〇〇
郵便收入	同	三、六〇〇、〇〇〇
電信收入	同	一、三〇〇、〇〇〇
官有地貸下料	同	五〇〇、〇〇〇
同拂下代收入	同	一、〇〇〇、〇〇〇
同雜收入及罰金	同	七〇〇、〇〇〇
エルバ、マテ一茶税	同	四〇、〇〇〇
官有鐵道收入	同	三、四〇〇、〇〇〇
不動産登記手數料	同	七〇、〇〇〇
國立銀行支拂利子	同	四二〇、〇〇〇
コルドバ州返納金	同	二〇〇、〇〇〇

南米亞然丁國々勢一班



南亞米然丁國々勢一班

合計 金貨 三七、九九一、七八八弗  
紙幣 六三、三〇〇、〇〇〇弗

歳出

共和國議會經費  
內務省  
外務省  
大藏省  
國債元利償却  
司法兼文部省  
陸軍省  
海軍省  
農商務省  
工務省  
思給金

經常歳出合計

金貨 二四、八二五、一七五弗八二仙  
紙幣 八四、五五六、四九九弗一〇仙  
臨時歳出  
金貨 一、二〇〇、〇〇〇弗〇〇仙  
紙幣 五、三八四、〇〇〇弗〇〇仙

紙幣 二、五六六、三八〇弗〇〇  
同 一四、三三九、三四九弗七二  
紙幣 一、三〇三、三一八弗〇〇  
紙幣 七、八八五、六七七弗八二  
紙幣 二四、四八七、二〇四弗四六  
紙幣 二〇、九三三、八一〇弗一二  
紙幣 二二、二一三、四二六弗二四  
同 一二、九八四、四四〇弗二〇  
紙幣 一〇、三八八弗一六  
紙幣 九、五一八、七二四弗〇〇  
紙幣 一、四九六、七三〇弗〇〇  
紙幣 二四、一九二弗〇〇  
紙幣 六、六二三、一七八弗〇〇  
紙幣 三、五九三、五五一弗九二

歳出入總計

金貨 二六、〇二五、一七五弗八二仙  
紙幣 八九、九四〇、四九九弗一〇仙

亞國ノ交通機關

郵便及電信(一八九六調査)

郵便及電信局ノ數ハ千二百三十七ヶ所ニシテ郵便物取扱數一七七、六四一、〇〇〇件(内、外國郵便取扱數二四、九四七、三四〇件)ニシテ電信ノ取扱數ハ四、九五三、八八七通ナリ  
電線ノ延長ハ總計八万四千九百四十五哩ニシテ内陸上線二万五千三百四十五哩水底線五万九千六百哩ヲ有ス今陸線及水底線ヲ其種別ニヨリ區分スレバ左ノ如シ

陸上線ノ部  
官設線 一一、〇二三哩  
鐵道附屬線 七、〇七〇"  
會社線 四、四二八"  
其他ノ私有線 二、八二四"  
合計 二万五千三百四十五哩  
水底線ノ部  
官有線 二三、五七二哩  
鐵道附屬線 一八、七二七"  
會社線 七、四六二"  
其他ノ私有線 九、三〇九"  
合計 五万九千六百哩  
南亞米然丁國々勢一班



前記ノ郵便局及電信局ニヨリテ同國政府ノ收入スル金額ハ千九百〇一年ニ於テ郵便收入約三百六十萬弗電信收入ニ於テ百三十萬弗ノ豫定ナリ

鐵道線

亞然丁鐵道ハ全國ヲ通シテ一万五千五百二十一基米アリ北方ハ「ボリビア」國境ナルヒュヒユイヨリ遠ク西北方ニユケン地方ニ至リ西方ハ智利國ト境ヲ爲セルアンデス山麓ノボンダ、ド、パカニ至ル政府ハ是等鐵道ノ獎勵費トシテ五分ノ保證利ヲ付セルノミナラズ更ニ線路ノ兩側各百米突ノ地ヲ無代ニテ鐵道布設者ニ給與セリ故ニ外國人ノ投資スルモノ續々トシテ絶ユルコトナク就中英人ノ如キハ競フテ鐵道布設ヲ計畫シ其投資額九千八百七十七萬三千餘磅ノ多キニ達セリ但現今ニ至リテハ補給利子給與ヲ廢シ代フルニ一時金(公債證書ヲ以テ)ヲ交付スルノ策ヲ取レリ  
亞國最初ノ鐵道ハペノザイレズ及ビフロスタ間ノ十基米突ニシテ實ニ千八百五十七年ノ創設ニ係ル

中央政府所屬ノ鐵道ハ三線アリ此延長里程一千九百五十七基米ニシテ其收入約三百四十萬弗州政府保管ニ屬スルモノハ四線ニシテ合計一千八百八十一基米ノ延長ヲ有ス而私立會社ニ屬スルモノハ一万二千三百八十三基米ナリ今是等鐵道ヲ各州各地ニヨリテ區分スレバ左ノ如シ

- ペノザイレズ 四、八七一基米九
- サンタフェ 三、四〇〇基米
- コルドバ 一、九五四基米六
- サンチアゴ、デル、エステロ 一、〇六八基米三
- エントレリオ 七、七七七基米八
- トクマン 五、八七七基米六

- コリエンテス 五、三六六基米一
- メンドザ 三、七二二基米七
- カタマルカ 三、六二二基米一
- サン、ルイス 三、三三四基米七
- バムバス 三、三〇〇基米二
- ラ、リオハ 三、一八八基米五
- サルタ 二、九五五基米五
- サン、フアン 八、三三六基米六
- ペノザイレズ市 七、五五七基米一
- チユブート 七、〇七〇基米一
- ウエフユイ 五、一五九基米九
- シヤコ 二、〇〇〇基米

以上合計一万五千五百二十一基米  
上記各線路中ノ六割一分ハ廣軌ニシテ八分ハ中軌條三割一分ハ狹軌條ナリ複線ノ延長ハ四百五十七條米單線ハ一万五千〇六十四基米ナリ而シテ全國ノ地積一基米平方ニ對スル鐵道延長ハ平均〇、七基米ノ割合ナリ  
前記各鐵道ノ資金總額ハ金貨五億二千三百五十一萬七千〇九十五「ペソ」ニシテ之レニ對スル利益ノ歩合ハ平均千分ノ二十八ナリ  
千八百九十八年中ノ調査ニ依ルニ

機關車數

一、一八〇臺



南米亞然丁國々勢一班

客車數 一、五四七臺  
貨車數 三二、四〇〇臺

ニシテ尙同年末ニハ貨車九百二十一臺特別列車百三十三輛ヲ新調セリ  
毎月使用機關車數ハ平均八百六十輛ニシテ各車ノ運轉距離ハ四万二千五百基米ナリ  
最近ノ調査ニ依ルニ旅客ノ數ハ一千六百四十七万八千〇五十八人ニシテ貨物運搬噸數九百四十二  
万九千四百一十一噸收入總額金貨三千三百二十四万一千五百〇九弗支出總額千九百十方三千百廿一  
弗ニシテ差引利益千四百十三万八千三百八十八弗ナリキ  
又運輸貨物ノ主位ヲ占ムルモノハ家畜ニシテ

- 第一 羊 六、〇〇三、七五〇頭
- 第二 牛 六三七、四一五頭
- 第三 豕 九五、五八〇頭
- 第四 馬 五八、〇四五頭

ニシテ家畜ニ次グモノヲ農産物トナス而農産物中ノ首位ヲ占ムルモノハ第一小麥ニシテ第二ハ玉蜀黍ナリ

今是等總收入ニ對シ其收入ノ割合ヲ計算スレバ左ノ如シ  
旅客收入 金貨 八、〇四四、二一二弗  
特別貨物收入 同 一、一九四、一五〇弗  
普通貨物收入 同 二二、三五六、四三〇弗  
其地ノ收入 同 一、六四六、七一七弗  
合計 同三千三百廿四万五千五百〇九弗

船舶ノ航行

即チ右ニ對スル營業費金貨千九百十方三千百廿一弗ニシテ收入割合一基米ニ付二千四百一十一弗七  
二仙支出割合千二百卅弗七九仙ナルヲ以テ每一基米ニ付九百十弗九三仙ノ利益アル計算ナリトス  
亞然丁國ニハ自國船會社ニシテ歐羅巴及北米各國ヘノ直航ニ從事スルモノ無シト雖モ南米ノ二三  
國及自國ノ沿海航及ビ内地河航線ハ極メテ盛ニ亞國人ニヨリテ經營セラル而亞國ト歐米トノ直航  
線ハ英佛獨以西米ノ六個國會社所屬ノ船舶ニヨリテ盛ニ行ハレ之ヲ伯國ニ比スレハ其交通ノ度極  
メテ頻繁ナリ即チ伯、米間ノ航海ハ一月二月一回ナルモ亞、米間ハ月四回ノ航行アリ伯、佛間ハ月二  
回ナルモ亞、佛間ハ月三回ナルガ如シ而是等航行ニ從事セル汽船會社ト其ノ國籍トヲ示セバ左ノ  
如シ

國名	出發港	會社名	往復回数	船舶數
伊太利	ジエノヅア	ナビガチコネ ジエチラレ	毎月三回	四(各五千噸ノモノ)
同	同	ラ、ヴェロチエ	同	十二(各三千乃至五千噸)
西班牙	バルセロナ	ウアボレス トランス、アトランチコ メサジホリー	伯國ニ寄港シマゼラン ヲ經テ智利ニ向フ	六(各二千噸)
佛國	ポルドウ	マリチム	毎月二回	六(各五千乃至 六千四百噸)
同	馬耳塞	トロンボール マリチム	毎月三回	九(各二千二百噸乃至 四千二百噸ノモノ)
同	乙	ハンブルヒ スワードアメリカカ	リオニ寄港ス	五(各八、九千噸ノモノ)
同	同	北獨乙ロイド	毎月一回	三(同) 上)
英國	サウサンプトン	王國汽船會社	毎二週一回(リオ寄港)	十(各五、六千噸ノモノ)
同	リバプール	パシフヰツク、メール	毎二週一回(リオ寄港)	六(同) 上)

南米亞然丁國々勢一班



伊國ノ船舶ハ其船費最モ低廉ニシテ上等一千法乃至七百五十法中等五百五十「フラン」ニシテ下等三百「フラン」ナリ而シテ移民輸送ノ爲メニ二百「フラン」以下ニテ乗船セシムルコトアリシエノヴアヨリ「フラン」ス、アイレス迄ノ距離ハ六千四百〇六哩ナリ  
 其他紐育ト「フラン」ス、アイレス間ニハ二會社アリテ各毎月四回ノ航行アリ又定期線ニアラザル歐、亞間汽船會社十餘線アリ  
 河川航行ノ會社亦數會社アリテ旅客及ヒ貨物ノ運搬ニ便セリ就中最大ナルモノタイワノ、ウイッチ汽船會社ト云フ美麗快足ナル河航汽船一百艘ヲ有セリ  
 「フラン」ス、アイレス港出入船舶噸數ハ伯國首府ノ毎年其出入船舶噸數ヲ減少スルニ反シ逐年其噸數ヲ増加セリ  
 今千八百九十八年ニ於ケル同港出入船舶噸數ヲ檢スルニ合計二万四千四十艘ニシテ登簿噸數八百十六万六千五百五十噸ナリ此ノ内外國通航船ハ二千〇八十艘此噸數三百三十二万六千噸ニシテ沿海通航船ハ一万八千九百六十艘此噸數四百八十四万〇百五十噸ナリ  
 今左ニ千八百九十七年ヨリ同九十九年ニ至ル三ヶ年間亞然丁國港灣ニ入港セル外國貿易船數ヲ示ス

年次	汽船		帆船		合計	
	船數	噸數	船數	噸數	船數	噸數
一八九七	六八二七	五五三二、九七三	三、五三六	五四一、〇九一	一〇、三六三	六〇六、四〇四
一八九八	六八六六	五九二八、七六五	三、三三三	六二六、三六三	一〇、一九八	六五五、一八
一八九九	六八二九	六二九三、〇四九	三、三一九	六四六、五一八	一〇、一八四	六九三、九五七

亞然丁輸出入貿易

年次	輸入(磅)	輸出(磅)	計(磅)	一人當貿易額
一八九七	五、一〇〇、〇〇〇	九、二〇〇、〇〇〇	一、四三〇、〇〇〇	三磅十志
一八九八	一、六〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	二、八〇〇、〇〇〇	四磅
一八九九	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇	三磅三志
一八九〇	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇	三磅三志
一八九一	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇	三磅三志
一八九二	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇	三磅三志
一八九三	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇	三磅三志
一八九四	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇	三磅三志
一八九五	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇	三磅三志
一八九六	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇	三磅三志
一八九七	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇	三磅三志
一八九八	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇	三磅三志
一八九九	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇	三磅三志

千八百七十七年ヨリ八十六年ニ至ル十ヶ年間ニ亞然丁國ガ爲セル貿易額

輸出入國名	ヨリ輸入額	ヘ輸出額	計	百分比
英國	三、八〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	四、九〇〇、〇〇〇	二一、八
佛國	三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	六、六〇〇、〇〇〇	二四、三
白耳義國	七、〇〇〇、〇〇〇	二、二〇〇、〇〇〇	九、二〇〇、〇〇〇	三三、七
獨耳義國	八、〇〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	六八、八
北美合衆國	八、〇〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	一四、〇〇〇、〇〇〇	六、四

南米亞然丁國々勢一班



南米亞然丁國々勢一斑

六十八

鳥爾圭	六,000,000	四,000,000	一,000,000	四,000,000
其他諸國	二六,000,000	三四,000,000	五三,000,000	二五,000,000
計	三二,000,000	三八,000,000	五四,000,000	三九,000,000

亞然丁國重要輸出品

羊皮	一八七三年(磅)	一八八〇年(磅)	一八八八年(磅)	一八七七年(磅)
羊毛	三,九〇〇,〇〇〇	五,三〇〇,〇〇〇	五,九〇〇,〇〇〇	五,一〇〇,〇〇〇
皮革	二八〇〇,〇〇〇	三,六〇〇,〇〇〇	三,七〇〇,〇〇〇	二,九〇〇,〇〇〇
牛肉	七〇〇,〇〇〇	九〇〇,〇〇〇	七〇〇,〇〇〇	七〇〇,〇〇〇
小麥	一,八〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,四〇〇,〇〇〇	七〇〇,〇〇〇
其他雜品	九,一〇〇,〇〇〇	一一,七〇〇,〇〇〇	一三,三〇〇,〇〇〇	一〇,六〇〇,〇〇〇

亞然丁國ノ外國貿易ハ追年進歩ノ形況ヲ呈シ過ル九十餘年來益々其輸入額ヲ加フルト同時ニ其輸出額ヲ増加セリ之レ外國移民ノ流入及内地人民繁殖ニ伴ヒテ同國產品ノ増加ヲ徵スルモノニシテ國力ノ進歩逐年其度ヲ加ヘ來レリ今一八九八年及九九年ノ貿易額ヲ對照スルニ

輸入	一八八九八年「ペンス」	一八九九年「ペンス」	増 (一八九九年)
輸出	一〇七、四二八、九〇〇	一一六、八五〇、六七二	九、四二一、七七二
輸入	一三三、八二九、四五八	一八四、九一七、五三一	五一、〇八八、〇七三

輸出入ノ差

輸出超過	二六、四〇〇、五五八	六八、〇六六、八六〇	二年合計 六〇、五〇九、八四四
			二年平均 三〇、二五四、九二二

即チ一八九九年ハ一八九八年ニ比シ輸入ニ於テ九、四二一、七七二「ペンス」ノ超過輸出ニ於テ五一、〇八八、〇七三「ペンス」ノ超過アリ而一八九八年ニ於ケル輸出品價格ノ輸入品價格ニ超過セル額ハ二六、四〇〇、五五八「ペンス」一八九九年ニ於テハ六八、〇六六、八六〇「ペンス」ノ超過ナリ此二ヶ年間ノ超過額ハ合計六〇、五〇九、八四四「ペンス」ニシテ其一年當平均超過額ハ三〇、二五四、九二二「ペンス」トナル  
今更ニ是等輸出入品ヲ有稅無稅ニ區別比較スルハ

有稅品	輸入	九三、九八八、五四五	七二、四七三、六四七	一〇〇、八六八、七三三
	輸出	六、一四一、四五四	六〇、七八四、〇三九	一三、三九八、一五六
無稅品	輸入	七、二九八、九〇二	一、五七三、七七二	二、三七一、七七二
	輸出	一〇七、四二八、九〇〇	一三三、八二九、四五八	二六、八五〇、六七二
合計				

即チ一八九八年ニ於ケル輸出入總計ハ二四一、二五八、三五八「ペンス」ニシテ一八九九年ニ於ケル總額ハ三〇一、七六八、二〇二「ペンス」ナリ而千八百九十九年ハ同八年ニ比シ輸入ニ於テ九、四二一、七七三「ペンス」ヲ増加シ輸出ニ於テ五一、〇八八、〇七三「ペンス」ヲ増加セリ即チ一八九九年ニ於ケル輸出入總額ハ之ヲ前年ニ比シ六〇、五〇九、八四四弗ノ増加ヲ見ル

南米亞然丁國々勢一斑

六十九



南米亞然丁國々勢一斑

千八百九十九年ノ總輸出額一八四、九一七、五三一「ベソス」中一〇〇、七五二、四三四「ベソス」ハ  
 フェノス、アイレス港ノミヨリ輸出セル額ニシテ同港輸出額ハ全國輸出額ノ五割四分五厘ヲ占メタ  
 リ今一八九八年及一八九九年ノ兩年間輸出入品ヲ大別シテ示セバ如左

名目	輸出品ノ部	
	一八九八年(貨金)	一八九九年(貨金)
動物及其產品	二、七五、七一八	五四三、九九九
食料	一三五、五七、〇九六	一〇、七七九、一八五
飲料	八、二九八、六二二	七、一六、五四〇
衣服及織物類	三三、九四六、四八四	三九、五四五、六五一
油類及礦物類等	三、二〇六、〇二一	三、八七三、三七六
化學製劑	三、一〇一、七八四	三、三四三、一五九
染料	八、一六、九九九	八〇六、八九一
塗料及木製品	六、三四六、四二二	七、四六六、八一八
紙類及其製品	三、〇一六、七八九	三、〇四六、二五七
草及其製品	九六〇、〇三二	一、二九、八〇七
鐵及其製品	一七、七八五、七九三	一八、〇七七、四五一
金屬及其製品	三、五〇四、八一	三、四五三、五七六
陶磁器硝子器等	八、五九九、四〇八	一〇、四八〇、一五〇
煙草	二、九四四、四〇三	三、五七七、三〇九
其他ノ雜品	一、一三三、〇三五	三、六一〇、六〇三
合計	一〇七、四二八、九〇〇	一六、八五〇、六七二

兩年間比較増(減)

輸出品ノ部

名目	輸出品ノ部	
	一八九八年「ベソス」	一八九九年「ベソス」
動物及其產品	八七、三八一、六三三	二五、五四六、九〇六
農産物	四二、六九二、九二二	六五、一五五、九九五
林産物	二、二八三、〇六一	二、二〇八、九一六
鐵礦物	二〇五、五五九	二三八、五六二
鐵礦物	四四九、五四九	七九五、八九三
其他ノ諸品	八一六、七四二	九七一、二五九
合計	一三三、八二九、四五六	一八四、九一七、五三一

亞然丁國ガ世界各國トノ輸出入貿易ニ關シ如何ナル關係ヲ有スルヤヲ知ラント欲セバ左表ニ就キテ  
 之ヲ判斷スルヲ得ン

國名	千八百九十九年「ベソス」		千八百九十八年「ベソス」	
	輸入	輸出	輸入	輸出
英	四三、六七、四二二	二二、七二、五九一	三九、〇二、六〇〇	一九、〇五、三六六
米	一五、四六、八四六	七、六七、五三三	一一、二九、〇七五	五、八七、四二五

南米亞然丁國々勢一斑



南米亞然丁國々勢一斑

七十二

伊	獨	佛	白	伯	西	ハラ	ウ	蘭	智	葡	ボ	ア	其	合	買	總
獨	佛	白	伯	西	ハラ	ウ	蘭	智	葡	ボ	ア	其	合	買	總	
一三七八〇、〇七一	一〇、九七九、六九〇	九、四一〇、四七九	四、八〇六、一一六	三、一九七、八八三	三、三七一、六四九	五〇六、九六七	一四三、〇五六	一四二、三〇九	九八、〇〇三	七八、三八五	四四、〇九八	一七三、七一六	一一六、八五〇、六七二	一一六、八五〇、六七二	一一六、八五〇、六七二	一一六、八五〇、六七二
四、九三六、六一三	二九、四三三、六六三	四一、四四六、七四七	二四、四七八、三七〇	七〇、四一、六六八	一、七九五、三九一	三、四八一、三四八	一、四八一、五二六	六五九、九三九	七二、一八四	三三三、一一九	二六五、九三九	一一、四二一、五六七	五六、三七四、一五六	二八、五四三、三七五	八四、九一七、五一一	一〇七、四三八、九〇〇
一三、六九五、三四一	一一、五七一、一一六	一〇、五九六、七二五	九、四四四、九八一	五、〇二二、一一五	三、三一九、四七〇	一、七五七、四三九	一〇九、八八一	八二、七七二	七四、九八四	五七、二〇八	二七、七四九	七、〇七九	一〇七、四三八、九〇〇	一〇七、四三八、九〇〇	一〇七、四三八、九〇〇	一〇七、四三八、九〇〇
五、二五六、〇五四	三〇、二八六、三三八	二九、九八一、〇五六	一三、九四九、七五一	七、九一六、三〇一	三、八七、九九八	一、四四、一〇八	三、六八三、二七五	三三三、二二二	一、三五四、四九四	一一、五九七	四〇八、八一三	一六三、三九七	二二三、八九〇、四一〇	二二三、八九〇、四一〇	二二三、八九〇、四一〇	二二三、八九〇、四一〇

前表ニ就テ之ヲ驗スルニ千八百九十九年ニ於ケル輸入品ノ原産地ハ英國ヲ第一トシ北米合衆國之レニ次キ伊太利第三位ヲ占メ獨乙第四位ニ立チ佛國第五白耳義第六位ニ在リ同年ニ於ケル輸出品ノ仕向地ハ佛國ヲ第一トシ獨乙之ニ次キ白耳義第三位ヲ占メ英國第四北米合衆國第五位伯刺西爾

第六位ニ在リ

千八百九十八年ニ於テモ輸入ハ依然英國第一位ヲ占メ伊、獨、米、佛、白ノ順序ヲ有シ輸出ハ又佛國第一位ヲ占メ獨乙之ニ次ク一十九年ニ同シ而英、白、伯、米ノ諸國又之ニ次ク要之ニ輸入品ハ毎年英國ヨリスルモノ最モ多ク輸出品ハ佛獨ノ兩國ニ向フモノ最モ多シ之レ輸入品ハ器械類及鐵石炭衣服及織物ノ類最モ多キガ故ニ英國常ニ其主位ヲ占ムル所以ニシテ輸出品ハ常ニ農牧ノ產品殊ニ未成品ニ限ルヲ以テ佛獨ノ兩國ニ向フモノ多キ所以ナリ而佛獨兩國ニ於テ羅紗及ヒ毛織物等ノ極メテ廉價ニ製産セラル、ハ亞然丁ヨリ廉價ナル材料ヲ購入スルニ因ル、亦其一原因タラズン

南米ニ在リテ著名ナル市ヲ算スレバ

- アラジル國ニ
- リオ、デ、ジャネーロ市
- バヒヤ一名サン、サルバートル市
- サン、パウロ市
- レシフ、一名ベルナンブリーヨ市
- ポルト、アレীগロ市
- サン、ペードロ市
- マナオ市
- ハラ市
- ウルグエー國ニ
- 南米亞然丁國々勢一斑



南米亞然丁國々勢一班

- モンテ、ヴィ、デオ市
- マルド、ナード市
- パラグエー國ニ
- アサンシヨン市
- ボリヴァア國ニ
- ストクレ市
- ラ、パース市
- コチャパンバ市
- ペルイ國ニ
- リマ市
- カラオ市
- エクアドール國ニ
- キト市
- グアヤクイル市
- コロンビヤ國ニ
- ボゴタ市
- バナマ市
- シラ、チバダ市
- ウエネズエラ國ニ
- カラカス市

マラカボ市  
グイアナ國ニ

- ジョーヤ、タウン一名アメリカ市(英領)
- パラマリボ市(蘭領)
- カニリン市(佛領)

智利國ニ

- サン、チアゴ市
- ヴァルパライソ市
- コンセプシヨン市
- イクイケ市
- ポルトモント市

亞然丁國ニ

- フエノスアイレス市
- ラ、プラタ市
- ロザリオ市
- サンタフェ市及バラナ市
- メンドサ市
- コルドバ市
- コリエンテ市

アリ然レ市街ノ麗貿易ノ盛ヲ以テ駭々トシテ歐洲老大國ノ都市ヲ凌駕スルノ勢アルモノハ其レ唯  
南米亞然丁國々勢一班



タ亞然丁國ノ「ブエノス、アイレス」市ノミナル哉  
 「ブエノス、アイレス」市ハ西徑五十八度（英國緯威天文臺ヲ令度トス）南緯三十四度半ノトコロニ在リ南ハ「ラ、ブラタ」市ト相距ル極メテ近ク北ハ「ラ、ブラタ」河ニヨリテ「ロザリオ」「バラナ」「サ」  
 「タフエー」「コリエンテス」ノ諸市ヲ經テ遠ク「バラグエー」「ボリヴィア」ノ内地及ヒ伯刺西爾國ノ「マツト、グロツソ」州ニ聯絡シ前面海水ヲ隔テ、「ウルグエー」國ノ「コロニア」市ト相對シ「モンテ、グイ、デオ」市ヲ距ルコ亦甚ダ遠カラズ實ニ大西洋ト南米内地トノ間ニ於ケル海陸運輸上第一重要ノ地ニ立テリ

市ノ人口  
 ブエノスアイレス市ハ人口八十萬餘人ニシテ外國人ノ居住スル者約三十萬人ニ近シ今ヲ去ルコト八十年前即チ獨立前約十年ニ在リテハ同市ノ人口ハ僅カニ四萬五千人（外國人ノ居留スル者二千二百五十八名ヲ含ム）ニ過キサリシモ亞國政府及ヒ人民ガ自國ヲシテ一大國タラシメ自國首府ヲシテ世界ノ大都會タラシメントノ希望ヲ以テ外國人ノ移住ト外國資本ノ注入トヲ歡迎シタル結果漸次ニ國力ノ進歩ヲ來タシ以テ今日ノ繁盛ヲ見ルニ至レリ而其今日ノ繁盛ヲ來タセルハ實ニ今ヲ距ル僅々二十年前ニ於テ始メテ不動ノ礎ヲ置ケルニ初マル

市街ノ家屋  
 土地ラ、ブラタ河ノ河口ニ近ク海岸ニ接スル一望千里ノ沃野ニシテ十分ナル廣サヲ有スルノミナラス市街ノ設計ハ百年ノ大計ヲ畫シテ廣大無邊ノ境域ヲ占領シ萬般ノ設備悉ク増設擴張ノ餘地ヲ有セルモ建設以來未ダ年行ヲ經サルヲ以テ市街ノ幅員ニ比スレバ戸數少ナク家屋ノ建築亦宏大ニシテ歐米都市ノ如ク六七層ヨリ十數層ニ至ルノ高樓ヲ見ズ多クハ二三階ニシテ稀ニ四五階ノモノヲ見ルモ建築ノ材料ハ石鐵及煉瓦ヲ用ヒ木造ハ極メテ稀ナリトス

市街ノ區劃

市街ノ區劃ハ棋盤ノ目ノ如ク方形ニシテ且ツ對角線ヲ有シ市街ノ區劃町名番地ノ配當郵便電信ノ集配區劃道路ノ直通運輸交通ノ敏滑ヲ計ルノ點ニ於テ何レモ最新最利ナル方法ヲ採用セリ  
 即チ市街ノ豫定區域ハ現時已ニ最新美麗ナル街衢ヲ爲セル海岸ニ近キ部ヨリ漸次無窮ニ内地ニ延長セラルベキ設計ニシテ未ダ家屋ノ建築セラレサル邊鄙ノ地方亦已ニ精確ナル測量ヲ了シテ廣坦砥ノ如キ大道ヲ通セリ家屋ノ番戶ノ如キモ亦極メテ便利ナル方法ニヨリ町名ノ如キ世界的ニシテ多クハ紀念トスベキ歴史ノ名ヲ命スルノミナラズ一町内ノ番戶ハ百番戶ヲ以テ限リト爲シ奇數ノ番戶ヲ左側トシ偶數ノ番戶ヲ右側ニ列スルヲ以テ如何ナル幼童不學ノ徒ト雖モ亦事情ニ通セサル外國人ト雖モ町名ト番地トヲ知レバ彷徨搜索ヲ要セス直チニ其求メント欲スル家屋ノ位置ヲ知ルヲ得ヘク各種交通機關上益スルトコロ極メテ多シ例ヘバ新稅關ト公園トノ間ノ街衢ナル五月十五日町ニ就キテ述ベンニ五月十五日ハ即チ亞然丁國ガ新ニ獨立セル紀念日ナルヲ以テ之ヲ同市ノ門戶タル海岸稅關ニ近キ大街ニ命名シタルモノニシテ同町ノ五十番戶ハ偶數ナルガ故ニ同街ノ右側中央ノ部ニ在ルコトヲ知リ得ヘク二十五番戶ハ奇數ナル故左側ニシテ全街延長ノ四分ノ一ノ距離ニ在ルコトヲ知リ得ベキガ如シ

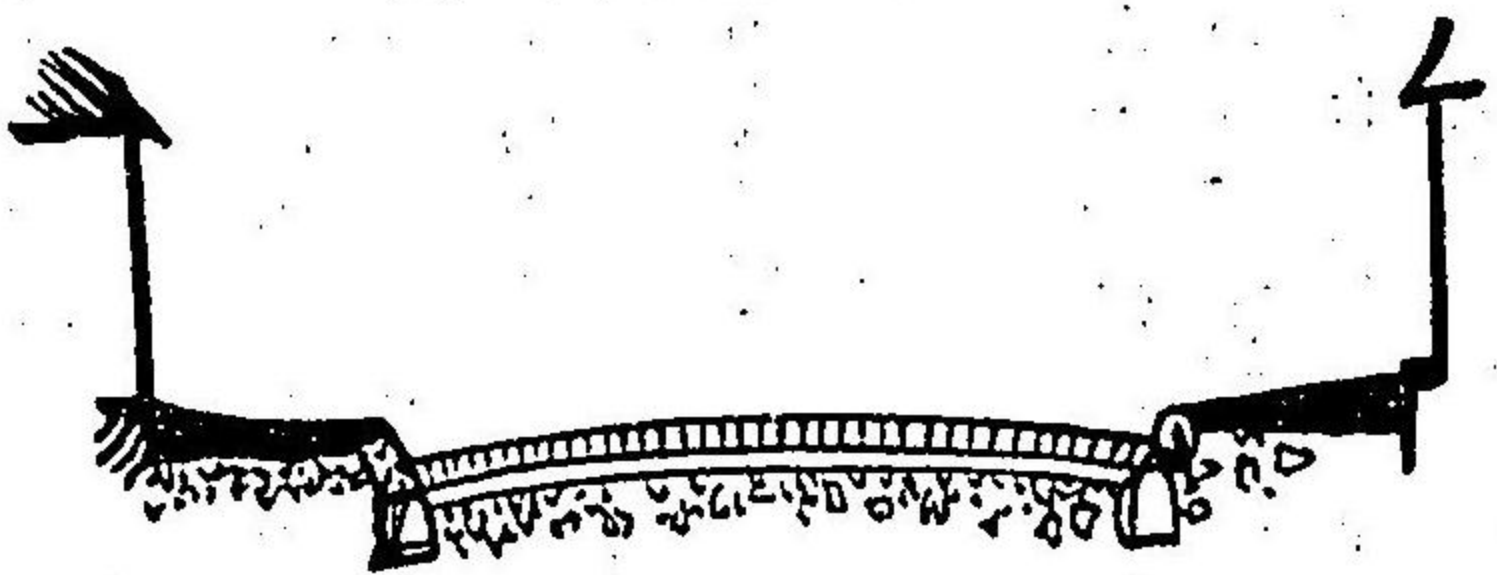
道路

道路ハ木道瀝道及ヒ石道ノ三種ニシテ我ガ東京ノ如キ砂礫道路ハ市ノ區劃中一モ之ヲ見ズ何レモ人道及ヒ車馬道ニ區別セラレ中央ノ車馬道ハ最モ廣ク大街ハ二十餘間小巷ト雖モ亦十間内外ノ廣サヲ有シ多クハ木造ナリ但繁盛ナラサル街路ハ石造ナルモ漸次之ヲ木道ニ改築スルノ豫定ナリト云フ人道ハ皆土瀝青ヲ以テ堅メ廣キハ五六間狹キモ一二間ヲ降ラズ而人道ト車馬道トノ間ニハ所々ニ雨雪及ヒ街路洗滌水ノ流入スヘキ口ヲ設クテ地下ノ下水ニ通セシムルノミナラズ所々ニ水



道柱及防火栓ノ設クアリ

道路横断面



同市ニ於ケル道路築造法ヲ聞クニ先ツ地盤ヲ均ラシ割栗石若クハ礫ヲ布キ  
巨大ナル鐵製蒸氣「ルーラー」ニテ表面ヲ均ラシツ、壓迫シ更ラニ細砂ヲ  
以テ蔽ヒテ再ビ「ルーラー」ヲ牽キ以テ地形ヲ作ル而石道ハ堅石ヲ煉瓦ノ  
大サニ截リタルモノヲ一枚通リ小口積ミニ排列シ細砂ヲ以テ各石ノ空間ヲ  
填充シ木道ハ地形ノ上ニ適宜ノ厚サニ「セメント、モルタル」施コシ直チニ  
「アッスバルタ」若クハ「コールタル」塗沫セル煉瓦石大ノ木瓦ヲ一枚通  
リ木口積ミニ排列シ表面ニ細砂ヲ撒布ス  
車道ハ中央高ク兩側低クシテ長キ半徑ヲ以テ畫ケル弧形ヲ爲シ人道ハ車道  
ヨリハ較ヤ高ク(約五吋内外)家屋ニ接近セル部ヨリ車道ハ向ツテ微ナル斜  
面ヲ爲ス「圖」ニ示スガ如ク人道ト車道トノ境ハ堅硬ナル石材即チ花崗石ノ  
數ヲ以テ縁ヲ作レリ

亞然丁ニ於テ木道築造ニ要スル木瓦ノ材料ハ同國內地ニ産スル「アルゴレ  
ベ」ト稱スル樹幹ニシテ樹質極メテ堅實ナリ今同市ニ於ケル道路築造費用

- ヲ調査スルニ左ノ如シ
- 道路一平方米突ノ築造費及保存期間
- 木道 十一ヶ年間保存
- 土瀝青道 八ヶ年間保存
- 石道 七ベンス 同上間保存
- 水道及ヒ下水
- 水道及ヒ下水ハ中央政府ノ管轄ニ屬シ其設備共ニ間然スルトコロナシ水道ハ「ラ、プラタ」川ノ水

ヲ利用シ水源ハ河口二十基米突ノ上流ニ在リ蒸氣騰水所貯水池沈澱池ノ宏壯ナル驚クノ外ナシ現  
時ノ水道ハ千七百七十四年ノ起工ニ係リ十七ヶ年ノ繼續事業トシテ(千七百九十年)始メテ竣功セ  
リ之レカ爲メニ中央政府ノ支出セル費用ハ合計金貨三千三百万「ベンス」即チ皇貨六千六百万圓ノ  
巨額ヲ算セリ水量ハ極メテ豊富ニシテ將來ニ於テ現在ノ人口ガ二倍以上ニ増加スルトスルモ敢テ  
不足ヲ感スル「無カルベシト云フ而モ市ハ尙ホ將來ニ於ケル市街ノ増大ト人口ノ繁殖トヲ慮リ何  
時ニテモ水道ヲ増設スルノ餘地ヲ存シ置ケリト云フ  
市街ニ在ル發電所紡績所織機所屠牛場機械場及各種ノ製造場ハ皆此水力ヲ利用シテ光、熱及ヒ動  
カヲ起シツ、アリ市街各店及倉庫ノ「エレヴエーター」税関構内ニ在ル起重器ノ運轉等皆斯ノ水  
道ノ水力ヲ應用セルモノナリ  
下水管ハ水道鐵管ト共ニ深ク地中ニ埋没シ時々行ハル、水道鐵管ノ大排水ト共ニ下水管ノ排除ヲ  
行ハル是等汚水ハ無數ノ大鐵管ニヨリテ直チニ海中ニ排除セラレ市街及邸宅中ニ委棄セラル、瀝  
芥ハ毎日之ヲ市外ニ撤去シ一定ノ地區内ニ於テ之ヲ燒却シ道路ハ毎日清掃セラレタル後撒水セラ  
ル、ヲ以テ衛生上一ノ欠點ヲ見ス

點燈

市街及家屋内ノ點燈ハ電氣燃瓦斯燈及ヒ石油燈ニシテ繁盛ナル市街ハ常ニ電氣燈ヲ用フルモ電話  
ヲ沮碍スベキ事變ノ起ルベキ豫備トシテ電燈ト電燈トノ間ニ瓦斯燈ヲ交ヘ立テ爾ヲ以テ祝日祭日  
等ニ於テ市街ヲ裝飾スルニ際シテハ紅白綠紫ノ燈光燦然トシテ相射映シ極メテ美觀ナリ又常ニ瓦  
斯燈ヲ點スル市街及常ニ電氣ト瓦斯トヲ交點スル市街アリ而シテ邊鄙ノ寂シキ市街ニ在リテハ石  
油燈ヲ用フルトコロ及ヒ瓦斯ト石油トヲ共用スルトコロアリ然レトモ之レ等石油燈ハ其市街區域  
ノ擴張セラレ市街ノ設備ト壯觀ト共ニ改良進歩セラル、ニ伴フテ漸次其數ヲ減少シツ、アリ



市街ノ點燈費用ハ市ノ負擔スルトコロニシテ市ハ毎年約千六百万「ペソ」ノ點燈費ヲ支出セリ  
同市ニ於ケル私設電氣點燈會社ハ二大會社アリ何レモ獨逸人ノ資本ト監督トニ成リ極メテ新式有  
利ナル發電機ヲ備フ今市街ニ於ケル燈火種類及其燈數ヲ示セバ如左

- 一千燭光ノ「アーク」燈 七百八十基
- 瓦斯燈（一基ニ數燈ヲ點スルモノヲモ一基トシテ計算ス） 一万三千九百基
- 石油燈 七千六百三十基

電燈用發電機ニ水力ヲ用ヒテ運轉ス

市内交通運搬機關

交通及運搬機關トシテハ電氣鐵道車、鐵道馬車、及ヒ各種ノ馬車荷馬車等アリ電氣及馬車鐵道ノ  
延長ハ約四百基米突ニシテ繁華ノ街衢ハ多ク電車ヲ馳セ市外ニ近キ新開地及場末ニハ鐵道馬車ヲ  
使用ス電氣及馬車鐵道會社ノ數ハ合計十會社アリ電車馬車共ニ單ニ乘客用ノモノト携帶貨物ヲ積  
載シ得ルモノトノ別アリ「グイクトリア」形馬車ノ數千七百六十臺「クーベ」形四百五十臺ニシテ  
貨物運搬用荷馬車ノ數ハ合計約二千ニ近シ

アエノス、アイレス港

アエノス、アイレス港ハ「ラ、ブラタ」河口ヲ離レテ海岸平坦ノ地ヲ利用シ灣曲出入セル沿岸ハ遠  
ク海中迄埋立テ整齊ニシテ且ツ堅牢ナル岸壁ヲ作り茲ニハ無數ノ倉庫及上屋ヲ設ケ鐵道ヲ布設シ  
岸ニ接シテ繫留セル船舶ヘ貨物ヲ揚卸スルノ便ニ供セリ外船渠即チ船溜リハ南北各一個アリ船渠  
ハ既成ノ分四個アリ何レ長方形ヲ爲シ既成波止場ノ前面ニハ建築用埋立地及ヒ他日新ニ擴張スヘ  
キ船渠ノ豫定計畫地ヲ殘シ其前段ニ石壁及木棧橋ヲ架シテ海水ヲ劃レリ  
「アエノス、アイレス」築港事業ハ一千八百八十六年ヨリ着手シ同九十八年始メテ之ヲ完成セリ其

ノ築港費用ハ合計金貨三千六百万「ペソ」ニ即チ皇貨七千二百万圓ニ當ルニシテ悉ク外國資本  
ヲ以テ之レニ充テタル港灣ノ設計ハ多ク佛國馬耳塞ニ範ヲ採リタルモ尙ホ英米獨伊ノ各大港ヲ調  
査シ其ノ長短便否ヲ參酌シテ之ヲ完成セルヲ以テ世界ニ於ケル最新最利ナル築港ノ一ニ數フルヲ  
得ベシ

今千八百九十九年中同港ニ出入セル船舶ノ數ヲ調査スルニ總數二万四千艘ニシテ其ノ登簿噸數  
八百十萬六千五百五十噸ニ及フ其内外國航船舶ハ二千八十艘此登簿噸數三百三十二萬六千噸ニシテ  
當地ニ無數ノ沿海航船ノ出入アリ  
貨物ノ入港噸數ハ百五十一萬五千二百八十七噸ニシテ外ニ通過貨物六十八萬二千〇七噸合計二百  
二十五萬六千四百四十七噸ナリキ

アエノス、アイレス港前面海水及ヒ「ラ、ブラタ」川ノ水深

ラ、ブラタ川ハ川幅廣ク水流緩ナルモ水積多ク且ツ遠ク粗歌ノ平野ヲ流レ來ルヲ以テ本流中央ノ  
部分ハ十分ナル水深ヲ有スルモ河口ニ流出スル泥土ハ大西洋ノ風浪ト相戦ツテ自然ニ海岸附近ニ  
堆積スルヲ以テ「アエノス、アイレス」港前附近ノ水深ハ比較的甚ダ深カラズ波浪潮流及水流ノ作  
用ハ海底ニ移動ヲ生シテ水深所處ニヨリテ同シカラズ故ニ「アエノス、アイレス」新築港ノ完成ト  
共ニ同港前一定距離ノ水底ヲ一定ノ深サニ浚濬シテ南北二條ノ航路ヲ作り爾來常ニ之ヲ浚濬シテ  
一定ノ水深ヲ保タシムルニ力メリ

南北ノ二航路

北航路ノ延長ハ約四萬六千米突ニシテ水深ハ干潮面ニ於テ常ニ二十一呎ヲ保タシメ北船溜ヲ距ル  
二萬千七百餘米突ノトコロニ於テ更ニ南船溜ニ通スル爲メ「リアシユエロ」河口ニ向ツテ延長一万  
九千米突深サ（干潮面下）十八呎ノ「リアシユエロ」航路ヲ掘開ス之ヲ南航路トナス南北兩航路



ノ兩側ニハ赤色ニ塗沫セル浮標ヲ並べ夜間ハ點燈ノ裝置ヲ爲セリ  
「アエノス、アイレス」港ト内地鐵道トノ關係

輸出入貨物運搬ノ爲メ埠頭及埋立地ニ布設セル特別水陸聯絡鐵道ノ起點ハ新稅關ノ前方(地圖參看)新埋立地ノ地下中央停車場ニシテ又同稅關ノ傍ラニ地上中央停車場アリ北方瓦斯局ノ傍ラニ「レチロ」停車場アリ舊稅關ノ傍ラニ「ベチズエラ」停車場アリ南方南「デボ」ノ傍ニ「カサアマリ」ラ「停車場アリ「レチロ」停車場ニ集マレル無數ノ軌條ハ「アエノス、アイレス」及「ロザリオ」鐵道并ニ北鐵道ニヨリテ西北内地ニ來往スヘキ貨物運搬ニ供セラル、モノニシテ北部「ラ、アラタ」河畔ノ一大港タル「ロザリオ」港トノ聯絡ハ「ニス」ノ「アエノス、アイレス」及「ロザリオ」鐵道ニ俟ツ

舊稅關ノ傍ナル「アエノス、アイレス」及「エンセナード」停車場ニ起レル同鐵道線路ハ「リアシユエロ」川ノ北岸ニ於テ一方ハ岐レテ大南鐵道ニ聯絡シ他方ハ直チニ南部ノ一大港タル「ラ、アラタ」ニ走ル

其他尙ホ市街ノ南西隅ニ大南鐵道起點停車場アリ市街ノ西端ニ西鐵道起點停車場アリ共ニ遠ク内地ニ向ツテ走り數條ノ分岐ヲ爲シ重要ナル市街ヲ連絡ス

船渠ノ貨物運搬用特設鐵道ハ三十六基米突ノ延長ヲ有シ貨車ノ數五万五千五百一十一臺汽罐車十臺アリ之レ港内輸出入貨物運搬ノ爲メニ特ニ使用セラル、モノニシテ之レニヨリテ一時ニ四十八萬二千噸ノ貨物ヲ運搬シ得ルト云フ

南北ノ兩船溜

北船溜ハ不等邊五角形ニシテ入口ノ廣サハ約百米突入口ハ五角形ノ頂ニ當リ東側岸壁ハ入口ノ端ヨリ算シテ南方ニ約二百米突(入口ノ中央ヨリ二百五十米)北方ニ約二百三十米突(入口中央ヨ

リ二百八十米)西側ハ四百米突ニ近ク南側ハ約三百八十米突北側ハ約三百三十米突ノ長サヲ有シ船溜内ノ水面積約十六萬五千平方米突ヲ有セリ

北船溜ノ底部即チ西岸ニハ棧橋ヲ架シ岸ニ直角ニ更ニ長サ約百米突ノ棧橋二條ヲ底邊ノ三分ノ一ノ間隔ニ設架ス北船溜入口左右ノ突堤ハ何レモ石壁ヨリ成リ左突堤ニ起重器用水壓所及海軍倉庫ヲ有シ海軍倉庫ノ西方ニ船渠用地(造船所用)及ビ長サ二百米突ノ大「ドック」アリ「ドック」ノ西隣廣潤ナル地面ハ木炭薪及菓實ノ市場ニ充ツ右方ノ突堤及ビ南岸水閘ニ及フノ地ハ一帶ニ石炭

ヲ置場ナリ南岸ノ中央部ヨリ較ヤ西方ニ偏シテ開門アリ  
南船溜ハ東南ヨリ西北ニ斜ニ延ビタル長方形ノ水面ニシテ「リアシユエロ」川ノ吐口ニ通ジ入口ハ開方セラレテ廣潤ナリ船溜ノ底幅ハ百餘米突ニシテ入口ニ近キ部分ハ二百米突ニ及ブ南開門傍ノ岸壁ヨリ「リアシユエロ」航路ノ入口ニ至ル延長ハ約千四百米突ニシテ千八百八十九年ノ開渠ニ係ル

南船溜ノ東岸ニハ長四百米突巾五十米突ノ石炭置場アリ石炭置場ノ東南ニ當リテ長サ百八十三米突船修繕用「ドック」アリ西岸ニハ長サ百二十米突巾三十米突ノ彼止場上屋三棟各百米突ノ間隔ヲ以テ並列シ何レモ數條ノ鐵路ヲ布キテ貨車ノ出入ニ便ナラシム

水閘

北船溜ノ開渠ノ延長ハ二百米突ニシテ第一、第二ノ二個ノ開門ノ間ニ於テ百五十米突ヲ有シ中央ニ回轉橋ヲ架ス開扉及回轉橋何レモ内ニ向ツテ開クノ裝置ナリ(但橋ノ基脚ハ西岸ニ在リ)

南開渠ノ延長モ亦北開渠ニ同シ但シ南入口ノ複開門即チ逆開門ヨリ第三開扉ノ尖端ニ至ルノ間ハ約百五十米突ニシテ第一開扉ハ外ニ開キ第二及第三ハ内ニ向ツテ開閉ス南開渠ニ限リ逆開門ヲ設クタルハ該溝渠ガ「リアシユエロ」河ノ水流ヲ吞ムノミナラズ船溜ノ形狀及ヒ其入口ノ關係ヨ



リシテ湖ノ乾滿ヲ測定シテ殊更ニ斯ノ設備ヲ爲セルモノナリト云フ(回轉橋ノ橋脚ハ東岸ニ在リ)

回轉橋

南北兩開渠及ビ第一、第二、第三、第四船渠ノ間隔毎ニ各一個回轉橋ヲ架シ時ヲ定メテ之ヲ開閉  
ス是等五個ノ回轉橋上ニハ二條ノ軌道ヲ通シ貨車ノ往復ニ便ス橋梁ノ大小強弱及ヒ設計ハ皆同一  
ニシテ水壓ニヨリテ之ヲ回轉セシム但第一回轉橋ノ橋脚ハ東岸ニ在リ橋ハ東岸ニ向ツテ開クモ第  
二以下ノ四橋ハ其橋脚皆西岸ニ在リ西岸ニ向ツテ回轉スルヲ何レモ相同シ

繫船所

繫船所ハ南ヨリ順次ニ第一、第二、第三、第四ノ四區ニ區分セラレ第一船渠ハ千八百九十年一月  
三十一日ノ開渠ニ係リ長五七〇米突巾百六十米突ニシテ八万五千五百平方米突ノ水面積ヲ有ス  
船渠ノ東岸ニハ長百二十米突ノ開放上屋ヲ除キ他ハ皆開放セラレタル土地ニシテ荷積波止場ニ使  
用セラレタル南岸ニハ第八波止場上屋ヲ隔テ、水壓機關室ノ設ケアリ西岸一帯ノ地ハ第一倉庫第  
四及第五波止場上屋及第二倉庫等順次ニ並列シ倉庫ハ各五十米突平方ノ地積ヲ占領セリ第二船渠  
ハ千八百九十年九月二十六日ノ開渠ニ係リ長サ幅共ニ第一船渠ニ同シ東岸一帯ノ荷積波止場  
ニシテ其東南隅ニ「アツキユムドレーター」塔アリ南及北ハ第一及第三船渠ノ隔壁ニヨリテ區劃セラ  
レ西岸ハ第三倉庫第六及第七波止場上屋及ヒ第四倉庫ヲ有スルヲ第一船渠ノ如シ  
第三船渠ハ千八百九十二年三月三十一日ノ開渠ニシテ長六百九十米突  
第四船渠ハ長六百三十米突ヲ有ス東岸ハ一面ニ荷積波止場ニシテ西岸ニハ九棟ノ倉庫ヲ築造セリ  
(第三船渠ノ西岸ニ五棟第四船渠ニ四棟)内五棟ハ長各百米突巾四十米突ニシテ他ノ四棟ハ百二十  
米突ナリ  
右四船渠及ヒ二船溜ノ外尙ホ船舶ノ碇泊スヘキトコロハ長サ五基米突ニ達ス即チリアシユエロ川

之レナリ河岸ニハ倉庫及ヒ製造場アリテ並列ス是等碇泊所ノ水深ハ約十七呎ニシテ四個ノ船渠ハ  
何レモ干潮面二十三呎九ノ水深ヲ保持ス

石壁

石壁ノ延長ハ既成ノ分リアシユエロ水道左岸入口ヨリ算シテ北方レチロ停車場前瓦斯局ノ前端ニ  
至ル迄合計約一万二千米突ニ近ク之レニ他日擴張スヘキ豫定港落成后ノ延長約七千四百米突餘ヲ  
合算スルトキハ總計一万九千九百九米突ニ餘ル而四個既成船渠周回石壁ノ延長ノミニテモ優ニ四千九百  
ヲ越ニ石壁ノ構造ハ堅牢ヲ主トシ海底ヲ浚濬シテ粗石ヲ投入シ(抗打地形ヲ施コセルトコロアリ)  
其上ニ「コンクリート」ヲ疊積シ表面ハ切石ヲ以テ蔽ヘリ

木棧橋

木棧橋ハラ、プラタ川ニ接スルところ約千七百米突ニ近キモノ、外瓦斯局ノ前面ラ、プラタ川ニ  
臨メル北岸ニ約三百米突及ヒ北船溜ニ架設セルモノヲ合算スルトキハ合計約二千六百米突アリ是  
等木棧橋ハ鋼線ノ「ストリン、ガース」ニシテ縱横ニ桁ヲ渡シ表面ヲ約五トノ歩ミニテ角材ヲ張レ  
ルヲ新約克棧橋ノ構造ト大同少異ナリト云フ

波止場

荷卸波止場ハ船渠ノ西岸一帯ノ地ニシテ完全ナル倉庫及ヒ便利ナル波止場ヲ備ヘ數條ノ軌道倉庫  
ノ周圍ヲ繞レルノミナラス上屋中ニハ貨車ヲ通スル爲メ三條ノ軌道ヲ布設セリ  
荷積波止場船渠ノ東岸一帯ノ地區ニシテ只第四船渠ノ岸壁ニ限リ貨物ヲ積卸スルヲ許セリ故ニ  
輸入貨物ヲ荷卸波止場即チ西岸ニ陸揚シタル後船ハ回轉シテ荷積波止場即チ東岸ニ泊シ茲ニ輸出  
貨物ヲ積載シテ而後出港スルヲ例トス

波止場上屋

南米亞然丁國々勢一斑



波止場上屋ハ既設ノ分合計八棟何レモ荷卸波止場ニアリ昔同積ノ廣サヲ有シ長百三十米突幅三十米突三近シ  
開放上屋ハ第一船渠ノ東岸入口ニ近キトコロ唯一アルノミ其幅員極メテ狭キモ長サハ百三十米突ニ近シ  
上屋ノ構造ハ比較的の低ク瓦煉木材及鐵ヲ以テ構成セラレ家屋ハ亞鉛板ヲ以テ葺ケルモノ多シ上屋ト上屋トノ間隔ハ南「ベイスン」ニ在ル三棟ハ上屋ト同一ナル延長ノ間隔ヲ有スルモ第一及第二船渠ニ在ルモノハ其距離僅々二十米突ニ過ギズ

倉庫

倉庫ハ既成ノモノ第一及第二船渠岸ニ四棟第三及第四船渠岸ニ九棟アリ其他サンタ、カタリ、ナス州產物特用地ノ前面ニ六棟ノ大倉庫アリ  
第一及第二船渠岸ノ四棟ハ同形等積ニシテ其地積約六十米突平方第三船渠ノモノハ短形ニシテ五棟共各長百米突幅四十米突ヲ有シ第四船渠ノモノハ四棟共各約百二十米突ノ長サヲ有セリ  
倉庫建築用材料ハ石及煉瓦ニシテ柱梁等ニハ鐵材ヲ使用ス多クハ二層若クハ三層ニシテ昇降階段ノ設備光線ノ分配送風換氣ノ方法等ノ節調總テ完全ヲ極ム就中庫ノ内外ニハ千五百基ノ貨物ヲ一時ニ昇降セシムルニ足ルヘキ貨物昇降用「エレヴェーター」三十六臺(原動力ハ水壓ヲ用フ)ヲ備フルノミナラス尙各所ニ手捲摺上器ヲ配置セリ

「デポ」

「デポ」ハ南北ノ二個所アリ一ハカサアマリラ停車場西面ノ地區ニアリテ一万五千平方米突ノ廣サヲ有シ他ハサンタ、カタリ、ナス產品特別置場ノ西北瓦斯局及ヒレチロ停車場ノ南方甚ダ遠カシサルトコロニ在リ約六千平方米突ノ積ヲ有ス此他尙北「デポ」ニ接セル廣大ナル地區ニシテ

石炭置場

「デポ」ニ使用シ得ベキトコロアリ

石炭置場ハ南「ベイスン」ノ東岸南隔門ニ近キ邊四百米突ノ延長ヲ有スル地區ニ一ヶ所ヲ置クノ外北東「ベイスン」ノ東南岸北航路入口ニ近キトコロヨリ北水隔ニ至ル一帶ノ地ヲ以テ之ニ充ツ斯ノ如ク石炭置場ヲ南北兩船溜ノ傍即チ出入口附近ニ設ケタルハ石炭搭載上極メテ便利ナル普通ノ設備ナリト云ヘリ

水壓所及アツキムレーター塔

無限ノ水量ヲ有シ且十分ナル壓力ヲ生セシムルニ足ルベキラブラタ川上流ヨリ引用セル水道鐵管ハ一北船溜ノ東北嘴ニ來リ一ハ第一船渠ノ南岸水壓機關室ニ來ル同所ニ据付ケアル水壓機關ハ極メテ巨大且ツ有力ナルモノニシテ水ヲ百餘米突ノ高所ニ昇騰セシムルヲ得ルト云フ

アツキムレーター塔ハ第二船渠ノ東南隅ニ在リ茲ニ昇騰セル水ハ此塔ノ非常ナル高サヲ有スルニヨリ非常ナル高度ノ水壓ヲ貯ヘ重クシテ且ツ大ナル回轉鐵橋ノ開閉ヨリ「エレヴェーター」及「クレーン」等各種ノ起重器ノ原動力ヲ爲スモノニシテ伊國シエノヴァ港ニ建設セラレタルモノト共ニ有名ナルモノニ屬スト云フ

起重機

貨物運搬用鐵道ノ兩側ニハ無數ノ起重器アリテ並列ス是等起重器ハ多クハ皆水壓式移動起重機ナルヲ以テ軌道上ヲ隨意ニ諸所ニ運搬シ得ラルガ故ニ極メテ便利ナリトス今其數ヲ見ルニ

- 千五百基扛移動水壓起重器 七十六臺
- 五千基全 二臺
- 一万基全 一臺



移動水壓式起重器合計七十九臺

右ノ外

千五百基打固定水壓起重器 五十一臺

三方基全 一臺

固定水壓式起重器合計五十二臺

尙他ニ蒸氣力ヲ以テ運轉スル起重器二臺アルモ破損及火災ノ患アルヲ以テ同所ニテハ多ク之ヲ使

用セズ

造船所

「グレート・グインズ、バンク」ハ百八十三米突ノ長サヲ有シ南船溜リノ東岸ニ在リ「グレート、ドック」ハ長サ二百米突ニシテ北船溜リノ北岸海軍倉庫ト木炭、薪及ヒ菓實市場トノ間ニ在リ何レモ完備セル新式ノ造船渠ニシテ甲ハ主トシテ船舶ノ修繕ニ供セラレ乙ハ製造ニ從事セリ

建築用埋立地及ヒ他日擴張スヘキ豫備地

舊稅關ノ前面一帯ノ地即チ別紙圖中ニ記セル第一波止場上屋ノ後方ヨリ起レル曲線ヲ傳ハリテ漸次西北方ニ走リ「サンタ、テレーモ」寺院ノ前方ヨリ蜿蜒北方ニ走リ終ニ北方瓦斯局ノ傍ニ至ル曲線ハ築港前ノ水界線ナルヲ以テ此ノ水界線以東ノ地ハ皆新築港ノ爲メニ埋立テタル地域ナリトス今「リアシユエ」航路入口ノ中心ヨリ北瓦斯局ノ側面ニ至ル埋立地域ノ總面積（船溜、船渠、他日擴張スベキ豫定港及ヒ建築用埋立地ヲモ含有ス）ヲ合算スルトキハ約四百〇七方六千平方米突ニ近キ廣大ナル面積ヲ有スト云フ

結論

發見后尙未ダ四百年ニ滿タザルノ國ニシテ初メハ島嶼主ト聯合シテラ、プラタ共和國ト稱セシモノ千八百十五年分離シテ始メテ亞然丁共和國ト稱スルニ至レリ然レモ此時代ニ於テハ未ダ以テ今日ノ發達進歩ヲ夢ミルコト能ハザリシガ千八百七十九年秘魯及ボリビヤノ二國ガ智利ト戰ツテ敗レタルヨリ以來一方ニ於テ其疆域ヲ擴張シタルト同時ニ他方ニ於テハ大ニ殖産興業ノ實ヲ舉グルチ力メタリ即チ各州鐵道ノ布設ブエノス、アイレス府港灣ノ修築ヲ始メトシテ各州農業牧畜ノ獎勵各種工業ノ振作等ハ主トシテ此時代ニ計企若シハ成效セラレタルモノニシテ同國現今ノ進歩ハ實ニ二十年來ノ進歩ニ屬スルモノナリ

然レモ農耕牧畜ノ端緒ヲ其起原ニ溯リテ考フレバ千八百三十年ニ於テ已ニ多少其基礎ヲ形成セルモノ、如シ而シテ外國移住民ノ間斷ナキ渡來ハ一方ニ於テ國土ノ開拓ヲ爲セルト同時ニ農耕牧畜ノ產品ヲ増加シ隨ツテ輸出入貿易ノ進歩ヲ來タスニ及ベリ然ルニ毎年外國ヨリ渡來スル是等多數ノ移民アルニモ關セズ同國ノ總面積ト耕地面積トノ比例ヲ見ルトキハ耕地ハ總面積ノ百分ノ一二ダモ足ラズ將來ニ於テ開墾耕種スベキ地積ハ尙極メテ多ナルヲ見ル

即チ亞然丁地域ノ總面積ハ合計七七、〇〇〇、〇〇〇「エーカー」ニシテ内耕地トシテ開墾セラレタル分七、〇〇〇、〇〇〇「エーカー」未開墾地七七〇、〇〇〇、〇〇〇「エーカー」アリ  
開國近ク進歩新ニシテ土廣ク人勤ナキヲ以テ輸出物ハ主トシテ牧畜、耕農ノ產品及其未製若クハ半製品ニシテ輸入品ハ主トシテ各種ノ器具器械及各種ノ加工品ナリ之レ努力ノ欠乏ニ起因スルモノニシテ努力ノ欠乏ハ工賃ノ不廉ヲ來タシ隨ツテ外國移民ノ來住ヲ見ルニ至レリ  
今ヤバナマ運河ハ半バ竣工シニカラシア運河亦計畫ノ不運ヲ見ル右二運河ノ何レカ完成セラル、ノ日ニ至ラバ東洋ト歐洲トノ航路ニ非常ノ變化ヲ來タシ東西貿易ノ趨勢亦大ニ其趣ヲ異ニスルニ



至ラン即チ從來只ダ地圖上ノ國トシテ東洋諸國ニ冷眼視セテレタル南米諸國ハ運河ノ開通ニ伴フテ新ニ其交通ヲ始ムベク隨テ新貿易ノ緒ヲ開キ新移民ノ渡來ヲ見ルニ至ルベキヤ疑ヲ容レサルトコロナリ

即チ中米運河ノ開鑿ハ全世界ヲ打シテ一團ト爲シ洋ノ東西ヲ間ハズ國ノ遠近ヲ論セズ一沫ノ黑煙克ク世界需用供給ノ平均ヲ保タシムルニ與ツテ力アルモノニシテ東洋ニ於テ南米ノ未成品ヲ得ラル、ト同時ニ南米ニ於テモ東洋ノ既成品ヲ得ラルベク東洋夥多ノ住民ハ南米人煙稀少ノ地ニ擴散セラレ其人口ヲ増スト同時ニ漸次其未成品ノ額ヲ増加スルノミナラズ又既成品ノ產出ヲモ増加シ遂ニハ世界ノ人口產品及其工賃價格ヲシテ較ヤ均一ナラシムルノ運ヲ見ルニ至ラン

果シテ然ラハ今ニ於テ南米ニ於ケル農耕、牧畜ノ產品ヲ初メトシテ其輸出入貿易ノ趨勢ヲ調査シ向來日本ニ輸入スヘキモノ及日本ヨリ輸出スベキモノヲ知悉スルト同時ニ移民授受ノ方法等ヲ研究スルハ運河開鑿前ニ於テ極メテ必要ナル問題ナルベキヲ信スルナリ

南米亞然丁國々勢一斑終

明治三十五年十二月十日印刷  
 明治三十五年十二月十二日發行

(非賣品)

橫濱稅關

橫濱市尾上町五丁目八十一番地

印刷者 原田松三郎

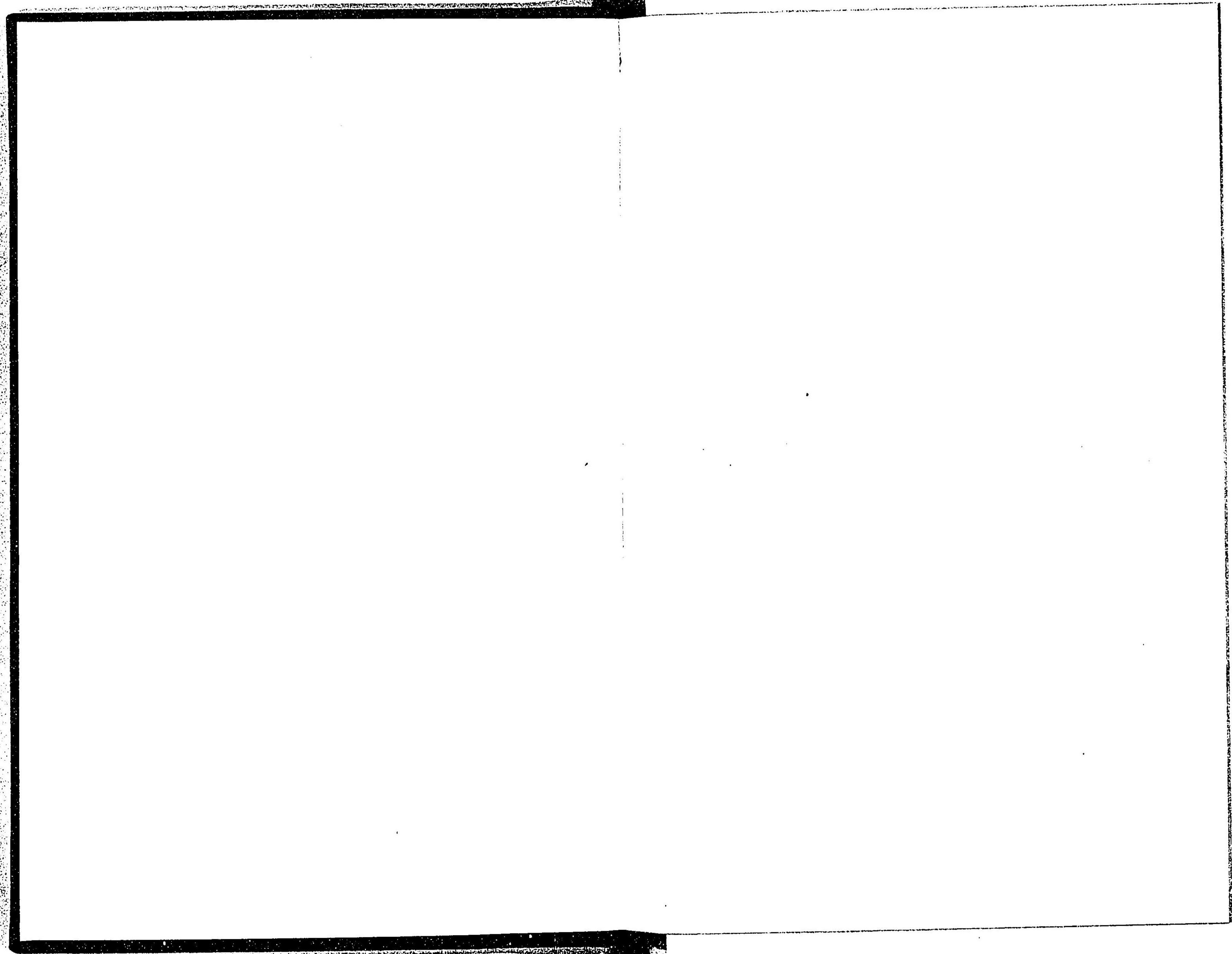
橫濱市尾上町五丁目八十一番地

印刷所 原田印刷合名會社

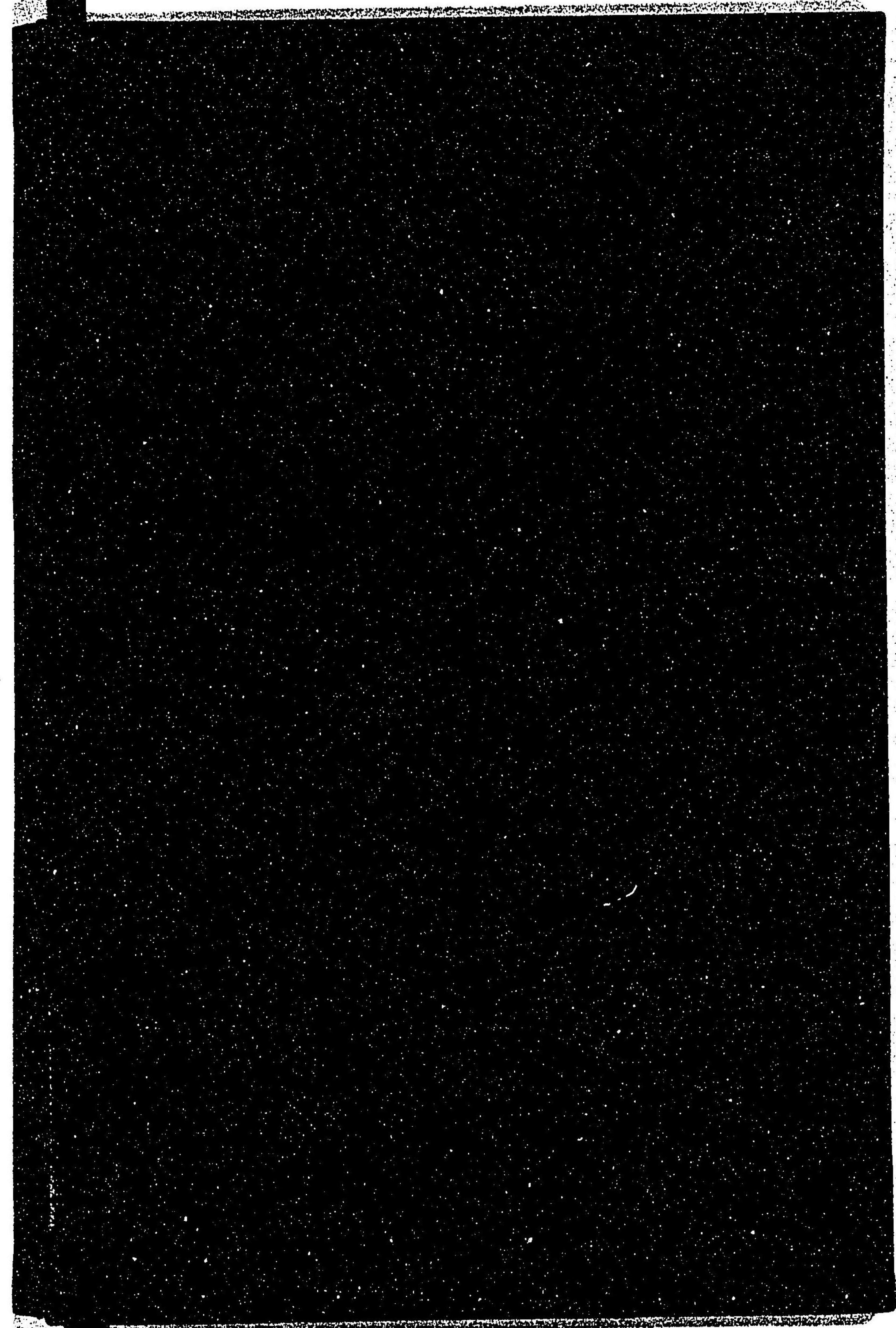


1-395











81  
733

026926-000-6

81-733

南米亜然丁国々勢一班

久保寺 兵吉/編

M35

ADG-0046



1121







1-395